

ARROWS Tab Wi-Fi

FAR70B

取扱説明書〈詳細版〉Android4.1用



FUJITSU

はじめに

本端末をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

マニュアルのご案内

「取扱説明書」(冊子)

本端末の初期設定の方法やお使いになる前の注意事項などを説明しています。
製品に同梱されています。

「取扱説明書〈詳細版〉」(PDFファイル)

各種設定やアプリケーションの操作など、本端末の詳細な使いかたを説明しています。
次の操作で「取扱説明書〈詳細版〉」を表示させることができます。

〈操作手順〉ホーム画面 (→P43) で [取扱説明書]

または、次の操作で表示されるサポートページから最新のPDFファイルをダウンロードできます。

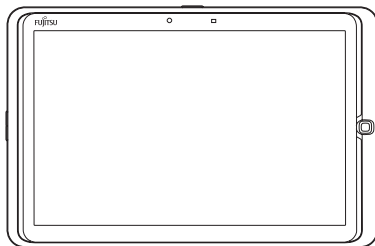
〈本端末から〉アプリケーションメニューで [ブラウザ] → Webサイト表示中にWebページ最上部にスライド→  →
[サポート情報]

〈パソコンから〉 <http://www.fmwworld.net/arrows/wifi/support/>

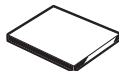
- 本書は、ファミリー利用設定が「標準モード」の場合で説明しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

FAR70B 梱包物一覧

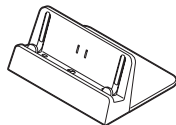
■ 本体（保証書含む）



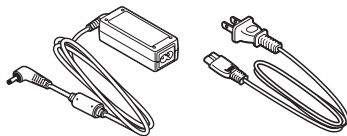
■ 取扱説明書



■ 卓上ホルダ



■ AC アダプタ



目次

■FAR70B 梱包物一覧	1
■お使いになる前に	4
■安全上のご注意（必ずお守りください）	7
■取り扱い上のご注意	14
■防水／防塵性能	19

ご使用前の確認と設定25

各部の名称と機能	25
初期設定	26
microSDカード	28
外部接続端子	29
充電	30
電源ON／OFF	32
基本操作	32
文字入力	34
ホーム画面	43
アプリケーション画面	44
画面表示／アイコン	45
バックアップと復元	49
本端末の初期化	49

電話帳50

NX!電話帳の使いかた	50
-------------------	----

メール／インターネット 52

Eメール	52
Gmail	54
ブラウザ	54
かんたんインターネット	58

本体設定 61

設定メニュー	61
無線とネットワーク	64
音・バイブ	67
ディスプレイ	70
スタイル設定	73
マルチメディア	74
ストレージ	74
電池	75
NX!エコ	75
アプリケーション	76
ロック／セキュリティ	77
スライドイン機能設定	86
言語と入力	86
アカウントを追加	88
日付と時刻	88
ユーザー補助	88
タブレット情報	89

ファイル管理 90

Bluetooth®通信	90
外部機器接続	93
DLNA対応機器との連携	95

アプリケーション 98

Playストア	98
Androidビーム	99
ワンセグ	100
カメラ	107
ギャラリー	111
YouTube	112
GPS／ナビ	113
時計	115
カレンダー	116
電卓	117
電子辞書	117
検索	118
Document Viewer	118

保証とアフターサービス 119

サポート情報の公開について	119
修理について	119
富士通タブレット修理規定	121
富士通タブレット相談対応規約	126

付録／索引 130

トラブルシューティング (FAQ)	130
廃棄・リサイクル	133
主な仕様	133
認定および準拠について	134
Declaration of Conformity	135
Important Safety Information	135
輸出管理規制	136
知的財産権	136
索引	141

お使いになる前に

◆ 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、この取扱説明書を熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。また、この取扱説明書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

◆ 保証書について

保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。

修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態でご返送します。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後6年です。

本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ 使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

◇ ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理が施してある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた本製品とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 壁紙の使用条件

本製品に「FUJITSU」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。

8. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

9. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などでの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

◆ 液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。

本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。

◆ 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

◆ 有寿命部品について

本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って磨耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において1日約8時間、1ヶ月で25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

磨耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。

本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。

〈主な有寿命部品一覧〉

液晶ディスプレイ、ACアダプタ、フラッシュメモリディスク

◆ 消耗品について

電池などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、本製品の内蔵電池はお客様自身では取り外しができません。交換は修理対応（有償）になります。

❖ 24時間以上の連続使用について

本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い（共通）.....	8
本端末の取り扱い.....	9
ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い.....	11
材質一覧.....	13

◆本端末、ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い（共通）

⚠警告



禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災・やけど・けがの原因となります。



禁止

本端末を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。

発煙・発火・破裂の原因となります。



禁止

本端末をお客様ご自身で修理、分解、改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、「富士通タブレット修理・相談センター」にご連絡ください。



水濡れ禁止

水や飲料水、ベットの尿などで濡らさないでください。

火災・やけど・けが・感電の原因となります。

防水性能についてはこちらをご参照ください。→P19



水濡れ禁止

本端末の上や周りに、花瓶・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

液体が本端末の内部に入ると、感電・火災の原因となります。

防水性能についてはこちらをご参照ください。→P19



禁止

指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを使ったり、ACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



禁止

落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障・感電・火災の原因となります。

修理は「富士通タブレット修理・相談センター」にご連絡ください。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災・やけど・けが・感電の原因となります。



禁止

本端末やACアダプタ使用中は、ふとんなどをかけたり、暖房器具の近くやホットカーベットのの上に置いたりしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

本端末を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。



電源プラグを抜く

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、すぐにタブレット端末の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通タブレット修理・相談センター」にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意



禁止

振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所には置かないでください。

けがの原因となります。



禁止

調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



禁止

本端末やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。

低温やけどの原因になります。

◆本端末の取り扱い

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表 示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムポリマー電池

⚠警告



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

内蔵電池の発火・破裂・発熱・漏液の原因となります。



指示

内蔵電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、直ちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。



禁止

スロットなどの開口部から、本端末の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



指示

次の場所では、本端末の電源を切るなどして、無線通信機能を停止してください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

・ 病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。

・ 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所

・ 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く

・ 満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

心臓ペースメーカーの装着部位からは22cm以上離してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。



禁止

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用し飛散りにくい構造になっておりますが、万が一割れた場合に破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。



電源プラグを抜く

本端末を落したり、カバーなどを破損した場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通タブレット修理・相談センター」にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



指示

本端末をご使用になる場合には、十分明るい場所で、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

また、本端末をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに使用を中止し、医師の診断を受けてください。

⚠️ 注意



禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかり握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



指示

ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒の恐れがあります。
ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
内蔵電池はリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投げられると破裂の恐れがあります。
廃棄の方法については、こちらをご覧ください。→ P133



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質については、こちらをご覧ください。→ P13

◆ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告



禁止

電源ケーブルが傷ついている場合は使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本端末やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電、火災の原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災・やけど・感電の原因となります。



禁止

電源ケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



禁止

電源ケーブルに、ドライバなどの金属を近づけないでください。

感電・火災の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災・やけど・感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災・やけど・感電の原因となります。



指示

電源ケーブルはコンセントから時々抜いて、コンセントとの接続部分およびACアダプタとの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。1年に一度は点検清掃してください。



指示

電源ケーブルは、壁のコンセントに直接かつ確実に差し込んでください。

感電・火災の原因となります。



指示

電源ケーブルを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となります。



電源プラグを抜く

内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通タブレット修理・相談センター」にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

火災・やけど・感電の原因となります。

⚠️ 注意



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	表示側	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	背面側	PC樹脂／UV硬化処理
TVアンテナ	アンテナ先端部	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	パイプ部	ステンレス鋼
	根元屈曲部	ニッケルチタン合金
	根元回転部	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
カメラパネル		高強度アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ステレオイヤホン端子		PA樹脂
外部接続端子		ステンレス鋼／錫メッキ
端子キャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所	材質／表面処理
スロットキャップ	PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
指紋センサー	フレキシブルプリント基板
充電端子	ステンレス鋼／金メッキ

■ACアダプタ

使用箇所		材質／表面処理
ケース		PC樹脂
ラベル		ポリエステル／PET
ACインレット	樹脂部	PBT、GF複合
	金属部	黄銅／ニッケルメッキ
コード外皮		PVC樹脂
DCプラグ	樹脂部	PVC樹脂
	金属部	黄銅／ニッケルメッキ

■卓上ホルダ

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	上ケース	ABS樹脂
	背面ケース	ABS樹脂
	下ケース	ABS樹脂
充電端子	端子レバー	POM樹脂
	接点部	C5191W-H／金メッキ
ゴム足		PORON

取り扱い上のご注意

◆本端末、ACアダプタ、卓上ホルダについて (共通)

- 本端末は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
 - ACアダプタ、卓上ホルダは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所での使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れてたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかかりたりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆本端末について

- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。風呂場での使用については、「本端末が有する防水性能でできること」をご覧ください。→P20
- 通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。

- **タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
- タッチパネルが破損する原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差ししたり、差した状態で引っ張りしないでください。**
- 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は端子キャップとスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。**
- ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけないでください。**
- 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
- 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
- データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。
- **本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。**
- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをお勧めします。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P77
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

- 改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘版に表示されております。電子銘版は、本端末で次の操作を行うとご確認いただけます。
アプリケーションメニューで「設定」→「タブレット情報」→「認証」
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

◆ACアダプタについて

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
本端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

使用周波数帯域：2400MHz帯

変調方式：FH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）

想定される与干渉距離：10m以下

周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

◆ 無線LAN (WLAN) について

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は次のとおりです。
使用周波数帯域：2400MHz帯、5.2GHz帯、5.3GHz帯、5.6GHz帯

変調方式：DS-SS方式、OFDM方式

想定される干渉距離：40m以下

周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能
本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末が日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

5.2GHz帯

チャンネル番号 (Ch)	周波数 (MHz)
36	5,180
40	5,200
44	5,220
48	5,240

5.3GHz帯

チャンネル番号 (Ch)	周波数 (MHz)
52	5,260
56	5,280
60	5,300
64	5,320

5.6GHz帯

チャンネル番号 (Ch)	周波数 (MHz)
100	5,500
104	5,520
108	5,540
112	5,560
116	5,580
120	5,600
124	5,620
128	5,640
132	5,660
136	5,680
140	5,700

防水／防塵性能

本端末は、端子キャップとスロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5^{※1}、IPX8^{※2}の防水性能、IP5X^{※3}の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。

※2 本端末におけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所に本端末を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信端末としての機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

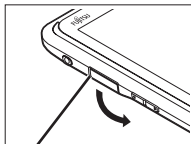
❖ 本端末が有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通信ができます。
 - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、端子キャップやスロットキャップの開閉はしないでください。
- 水深1.5mのプールの中に沈めることができます。
 - 水中で操作しないでください。
 - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
 - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、所定の方法（→P23）で水抜きしてください。
- 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P23）で水抜きしてください。
 - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、所定の方法（→P22）で洗い流してください。
 - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
 - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
 - 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

◆ 防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- microSDカードの取り付け／取り外し時や外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。



ミゾ

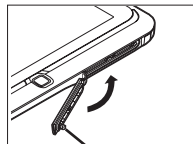


ミゾ

また、microSDカードの取り付け／取り外し後や外部接続端子使用後は次の図の示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。



ツメ



ツメ

- 端子キャップとスロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 端子キャップ、スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンををはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態で動画再生などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。

- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。動作不良となる恐れがあります。
- 端子キャップやスロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。
- 端子キャップやスロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆ 本端末の洗いかた

強くこすらずに水道水で手洗いしてください。このとき、端末を両手で持ち替えながら端子キャップやスロットキャップを押さえ、キャップに直接水道水がかからないように注意してください。



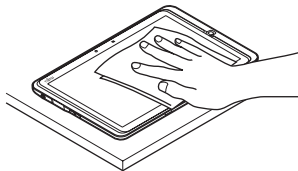
本端末を持っている手で
キャップを押さえながら、
上から水道水をかける

- 規定（→P19）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本端末はIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着している場合は操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

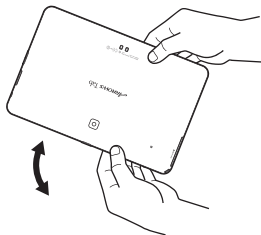
◆ 水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

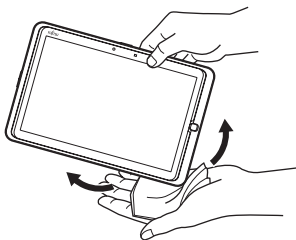
- ① 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



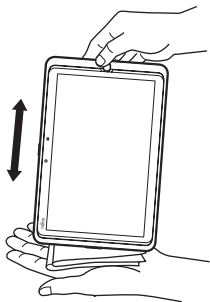
- ② 本端末のディスプレイ面を下にして、長い辺を両手でしっかりと持ち、10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。その後、180度持ち替えて同様に10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ 外周部の隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末の四隅を各10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



- ④ ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカー、キー、充電端子、TVアンテナなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて拭き取ってください。



- ⑤ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

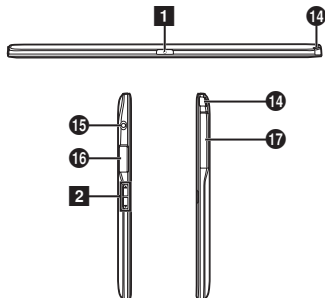
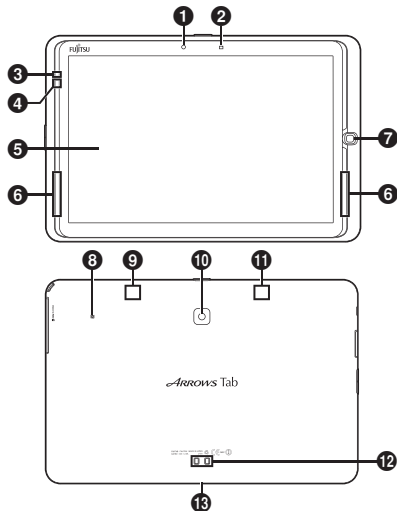
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、端子キャップを開いたりしてください。
- 端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



〈各部の機能〉

① インカメラ

② RGBセンサー

周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節

※ ふさぐと正しく検知されない場合があります。

③ お知らせLED

電源ON：緑色1回点灯

充電中：赤色点灯

※ 点灯／点滅色は、設定やアプリケーションによって異なります。

④ マイク

⑤ ディスプレイ（タッチパネル）

⑥ スピーカー

⑦ 指紋センサー

指をスライドさせる：指紋認証、ロック画面解除

押す：スリープモードの設定／解除

8 NFCマーク

※ NFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざして通信することができます。

9 Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

10 アウトカメラ

11 GPSアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

12 充電端子

13 製造番号 (S/N:XXXXXXXX)

14 TVアンテナ

※ ワンセグ視聴時に伸ばします。TVアンテナを引き出すときは最後までしっかり引き出してください。

15 ステレオイヤホン端子 (防水)

16 外部接続端子 (microUSB／MHL兼用)

PC接続用のUSBケーブル (市販品) やMHLケーブル (市販品) の接続

17 microSDカードスロット→P28

〈キーの機能〉

1 電源キー

押す：スリープモードの設定／解除
長く押す：電源を入れる／切る、再起動

2 音量キー

押す：音量調節

初期設定

初期設定は、ネットワークに接続する操作が含まれます。必要に応じて無線LANに接続できる環境で行ってください。

1 (2秒以上)

お知らせLEDが緑色に点灯して、電源が入ります。

2 ファミリー利用設定の[設定]→モードを選択→[設定完了]

「ようこそ」と表示されます。

- [日本語] を上にフリックすると、言語を変更できます。

3 [開始]

Wi-Fi設定画面が表示されます。

4 Wi-Fi設定を行い、ネットワークに接続する

接続が完了すると、Wi-Fiネットワークに接続済みの画面が表示されます。

- Wi-Fi設定を行った場合は、ネットワークから提供された日付と時刻が自動的に設定されます。

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合：[Wi-Fi簡単登録]→登録方式を選択→アクセスポイント側で操作

- 登録方式によって操作が異なります。画面の指示に従って操作してください。

接続するWi-Fiネットワークが表示されている場合：

Wi-Fiネットワークを選択

- 必要に応じてパスワード (セキュリティキー) を入力して [接続] をタップしてください。

Wi-Fiネットワークを追加する場合：[ネットワークを追加] → 追加するネットワークのSSIDを入力→セキュリティを選択 → [保存]

- 必要に応じてセキュリティ情報を入力してから [保存] をタップしてください。

リストを更新する場合：[リストを更新]

Wi-Fi設定を行わない（ネットワークに接続しない）場合：[スキップ] → 操作6へ進む

5 [次へ]

Googleアカウントの確認画面が表示されます。

6 [はい] → Googleアカウント(メールアドレスとパスワード)を入力 →

Googleアカウントを入力して、利用規約などを確認後に [OK] をタップすると、Google+の利用画面などが表示されます。画面の指示に従って設定してください。

Googleアカウントを持っていない場合：[いいえ] → [アカウントを作成] → 画面の指示に従って登録 → 操作7へ進む

Google利用を設定しない場合：[いいえ] → [今は設定しない] → 操作8へ進む

7 バックアップの設定 →

- Googleアカウントの初回設定時に「バックアップと復元」という画面が表示されます。本端末はこの機能に対応していないため、[Googleアカウントでこのタブレットを常にバックアップする] にチェックを付けても、データはバックアップされません。また、「バックアップ設定は [設定] からいつでも変更できます。」と表示されますが、本端末では設定の変更はできません。

8 Google位置情報の利用を設定 →

セットアップ完了画面が表示されます。

- Google利用を設定していない場合は、タブレットの所有者を入力し、Googleサービスの同意を確認して をタップすると、セットアップ完了画面が表示されます。

9 [完了]

初期設定が完了すると、「ここがあなたのホームです」と表示されます。[OK] をタップすると利用を開始できます。

◆ 設定メニューからの初期設定

本端末を使うために必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 アプリケーションメニューで [設定] → [初期設定]

2 各項目を設定

スライドイン機能設定：画面の端から指をスライドさせてアプリケーションを起動したり、画面をキャプチャしたりすることができる機能を設定します。→ P86

画面ロックの認証設定：画面ロックの認証設定を有効にするかを設定します。→ P77

セキュリティ解除方法：画面ロックの解除時などで使用する認証操作の種類を設定します。→ P77

✓お知らせ

- 初期設定の項目以外にも、必要に応じてEメールのアカウントを設定してください。→ P52

microSDカード

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、64GBのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2013年11月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

✓お知らせ

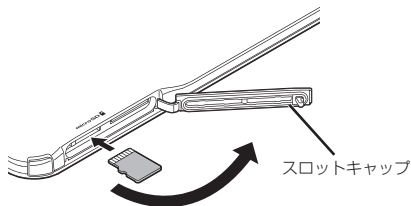
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り外しは、マウントを解除するか電源を切ってから行ってください。

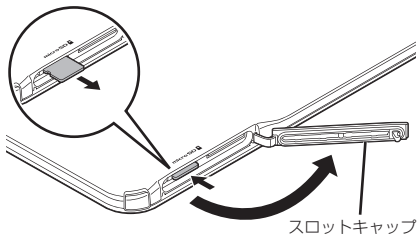
■ 取り付けかた

本端末のスロットキャップを開け、本端末裏側のmicroSDマークの向きに合わせてmicroSDカードの金属端子面を上に向けて、microSDカードを「カチッ」と音がするまで差し込む



■ 取り外しかた

本端末のスロットキャップを開け、microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す



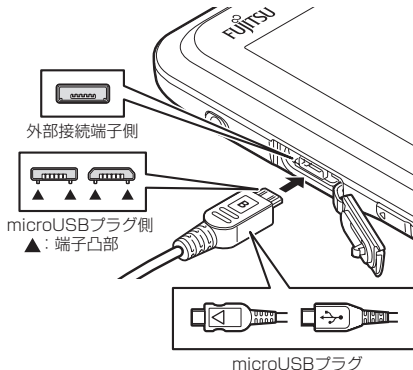
✓お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

外部接続端子

❖microUSBプラグご利用時の注意事項

- microUSBプラグには向きがあります。次の図のようにmicroUSBプラグ端子の凸部を下に向けて外部接続端子に水平に差し込んでください。
- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本端末の外部接続端子が破損する原因となります。



充電

❖ 充電時のご注意

- 本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電可能な状態になると、再度充電を開始します。
 - 内蔵電池の電圧が充電可能な範囲外になった
 - 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった
- 長時間かかって充電が完了しない場合は、充電エラーになりお知らせLEDが消灯します。アプリケーションを終了した後、充電器から取り外して充電し直してください。
- 電池切れの状態でも充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

❖ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

❖ ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタの取扱説明書をご覧ください。

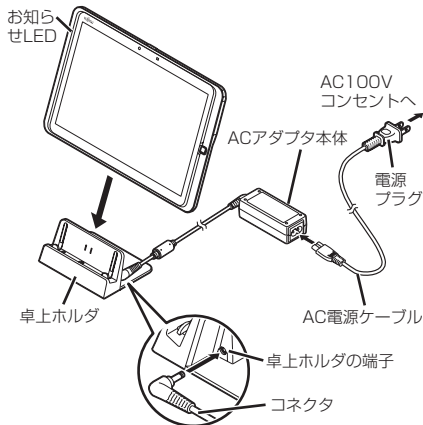
ACアダプタ：AC100Vから240Vまで対応しています。
ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

◆ 卓上ホルダを使って充電

付属の卓上ホルダとACアダプタを使って充電します。

- ① AC電源ケーブルをACアダプタ本体に差し込む
- ② ACアダプタ本体のコネクタを卓上ホルダの端子に差し込む
- ③ AC電源ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込む
- ④ 本端末を卓上ホルダに差し込み、お知らせLEDの点灯を確認する
 - 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ⑤ 充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外し、AC電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜く

⑥ 卓上ホルダからACアダプタ本体のコネクタを抜く



◆ 外部接続端子を使って充電

パソコンとUSB接続時（非通信時）に、パソコンから充電することができます。また、USB充電アダプタ（市販品）からも充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

✓お知らせ

- 外部接続端子を使った充電は、卓上ホルダを使った充電に比べ時間がかかります。
- すべてのUSBケーブルで充電できることを保証するものではありません。
- 卓上ホルダと外部接続端子の両方から同時に充電できません。卓上ホルダからの充電が優先されます。

電源ON／OFF

◆ 電源を入れる

- 1  (2秒以上)
お知らせLEDが緑色に点灯して、バイブレータが振動します。起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 2 ロック画面のをまでスライド
• ロック画面→P48

◆ 電源を切る

- 1 電源オプションメニューが表示されるまで、を押し続ける
• を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
- 2 [電源を切る]
バイブレータが振動して電源が切れます。
再起動：[再起動]

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

- 本端末はタッチパネルを指で直接触れて操作します。
• タップが認識されているときに、振動でお知らせするかを設定できます（はっきりタッチ→P68）。

❖ タッチパネル利用上のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

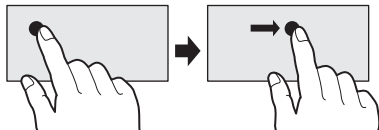
❖ ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリケーションによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

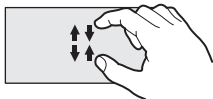
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

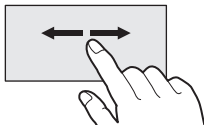
❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖ フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆ 縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P71）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 [📷]と[📷]を同時に押す(1秒以上)

通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をタップ、またはアプリケーションメニューで「ギャラリー」→「スクリーンショット」をタップすると、画像を確認できます。

✓お知らせ

- キャプメモでも画面を画像として保存することができます。→P86

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNX!inputでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P39
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P42

◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボード、50音キーボードを使って文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。→P39

■ テンキーキーボード

入力方式の設定により、フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力の3種類の入力方式を使用できます。→P37



■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



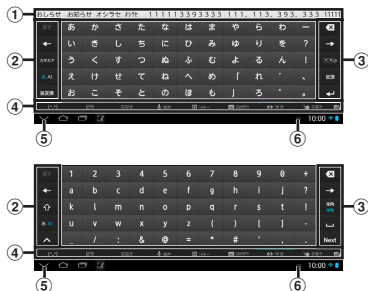
■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。



■ 50音キーボード

50音順、アルファベット順で入力します。



英数入力モード時

- ① 変換候補表示領域：文字を入力したときに変換候補を表示、選択
 - ・ 変換候補の表示領域を左右にスライドすると隠れている候補を表示できます。キーボードによっては、変換候補の下に、確定前の文字列が表示されます。
 - ・ 文字入力欄によっては、変換候補が表示されない場合があります。
- ②
 - 戻る：直前に確定した文字を変換前の文字に戻す
 - テンキー：テンキーキーボードでの入力、キーに割り当てられた文字を逆順に表示
 - ←：カーソルを左に移動
 - ↑ / ↓：カーソルを上下に移動
 - AT英 / 英A：入力モードの切り替え（かな・英字・数字） / （かな・英字） / （かな・英数字）
 - ひらがな / カタカナ：ひらがな／カタカナの切り替え

Shift ⇧ / ⇩ : 英字入力時の大文字と小文字の切り替え
• ⇧ はタップするたびに大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。

Caps Lock : 大文字固定に設定／解除

{ / { : 記号入力モードに切り替え

ABC : 英字入力モードに切り替え

⇧ : パスワードマネージャーの引用、電話帳／ATOKダイレクトの引用、NX!inputの設定、文字コードの入力、単語登録、定型文に切り替え

• キーボードの非表示の操作にも利用します。

英変換 : かな／全角カタカナ／半角カタカナ、英字の後変換候補から選択

かな変換 : カタカナ／数字／英数／年月日（全角／半角）などに変換

③ ⇩ : カーソルの左側の文字を削除

• 上にフリックすると、カーソルの右側の文字を削除できます。

→ : カーソルを右に移動

小文字 / 濁点 / 半濁点 / 大文字 : 小文字・濁点・半濁点／大文字の切り替え

全角 / 半角 : 全角／半角の切り替え

変換 / 空白 : 文字の変換／空白の入力

Next / 確定 : 次の入力項目にカーソル移動／確定または改行

• この他にも、Go、🔍、Done など、機能が変化する場合があります。

◀ / ▶ : 手書きキーボードで左右の表示枠に1文字分だけ移動

④ 10キー / QWERTY / あ 50 音 / 手書き : キーボードの切り替え

(^_^) / 記号 / 定型文 : 顔文字／記号／定型文の入力

🔊 : 音声文字入力 of の起動

10キー / QWERTY : ロングタッチでテンキーキーボードの位置の切り替え

• テンキーキーボードの上で2本の指で移動方向にドラッグしても位置を切り替えられます。

QWERTY : ロングタッチでQWERTYキーボードの分割キーボードと通常キーボードの切り替え

• QWERTYキーボードの上でピンチアウト、ピンチインしても切り替えられます。

あ 50 音 : ロングタッチで50音キーボード（50音順）の左向き／右向きの切り替え

• 50音キーボード（50音順）で ⇄ 50 音 をタップしても、左向き／右向きを切り替えられます。

手書き : ロングタッチで手書きキーボードの枠数の切り替え

🖋️ : 上書き手書き入力の有効／無効

⑤ ✓ : キーボードの非表示

⑥ ⚙️ : キーボードの各種設定

⑦ 手書き入力領域 : 指で文字を書いて入力

• 入力確定していない文字をタップすると、補正候補の文字が表示されます。文字をタップすると入れ替えることができます。

• 右端の枠に文字を書くと、自動的にスクロールして左端の枠に移動します。

• QWERTYキーボードで、左右にキーボードを分けたときは中央に表示されます。

• 〰️ をスライドすると隠れた入力領域を表示できます。

❖ キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

■ キーボードの非表示

1 キーボード表示中に▼

- ▲をタップして、ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライドし、▲が□に切り替わってから、再度□にスライドして指を離しても非表示にできます。

❖ テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の3つの入力方式を利用できます。

- キーボードの設定の「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。→P39

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと▼を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「べ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

◆ 便利な入力機能

記号や定型文の入力をしたり、電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。また、音声で文字を入力することもできます。

❖ 顔文字／記号パレットで入力

1 (^ _ ^) (顔文字) / (記号)

2 カテゴリーを選択→アイテム一覧から顔文字／記号を選択

- パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
- アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
- パレットの左上にある【履歴】をタップすると、最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

❖ 定型文／文字コード表から入力

1

- ↑ → 定型文 / 文字
- キーボード上に「定型文」が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。
 - 手書きキーボードの場合は、↑ → NXInputメニューの【定型文】／【文字コード】を選択します。



2 カテゴリーを選択→一覧から定型文／文字を選択

❖ 他のデータから引用して入力

電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。

- パスワードマネージャー→P82



- 手書きキーボードの場合は、→NX!inputメニューの「ATOKダイレクト」を選択します。

2 目的の操作を行う

電話帳から引用：「電話帳／ATOKダイレクト」→連絡先リストで名前を選択→項目にチェック→[OK]

パスワードマネージャーから引用：「パスワードマネージャー」→認証操作→タイトルを選択→「ID（アカウント）」欄または「パスワード」欄の

- 文字入力中にキーボードの→をタップしても操作できます。

❖ 音声文字入力

音声で文字に変換して入力します。



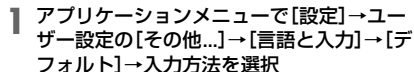
2 認識結果候補一覧から文字を選択

- 発声した言葉が正しく認識されない場合は、認識エラー画面で「やり直す」をタップすると、再度発声できます。
- 認識結果候補一覧では、上下にスクロールすると、表示されていない候補を表示できます。

◆ 他の入力方法に切り替え

Googleキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力することもできます。

- Googleキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書きキーボードでのみ入力できます。



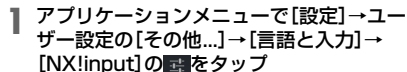
✓お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で「NX!input」を選択します。

◆ NX!inputとATOKの設定

❖ キーボードの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語や定型文の登録、設定の初期化などもできます。



2 各項目を設定

操作音・パイプ: キー操作音、キー操作パイプを設定します。

テンキーの設定: 入力方式 (フリック入力/ケータイ入力/ジェスチャー入力)、フリック入力の設定 (トグル入力、フリックガイド、フリック感度、修飾キーフリック)、ケータイ入力の設定 (自動カーソル)、ジェスチャー入力の設定 (トグル入力、ジェスチャーガイド)、文字削除キーを設定できます。

QWERTYキーボードの設定: 英字は確定入力、数字キー表示 (縦画面)、数字キー表示 (横画面)、フリックガイド、フリック感度を設定します。

手書き入力の設定: 上書き手書き入力 (テンキー、QWERTYキーボード、50音キーボード)、上書き手書き枠数 (縦画面/横画面)、ガイド表示、確定速度、線の設定 (太さ、色) を設定します。手書きジェスチャーのデモアニメも表示できます。

共通の設定: 推測変換、未入力時の推測候補表示、スペースは半角で出力、自動スペース入力を設定します。

候補一覧設定: 候補一覧の文字サイズ、表示行数 (縦画面)、表示行数 (横画面) を設定します。

デザイン: 画面デザインのテーマ、キーサイズ (縦画面)、キーサイズ (横画面) を設定します。

ユーティリティ: 辞書ユーティリティで単語の登録 (→P40) や、定型文ユーティリティで定型文の登録、編集 (→P41) を行います。

初期化: 設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- [設定の初期化] を実行しても学習データやユーザー辞書の単語、登録した定型文は削除されません。

❖ 単語の登録 (ユーザー辞書)

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておく、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

■ ユーザー辞書に単語を登録

1 アプリケーションメニューで [設定] → ユーザー設定の [その他...] → [言語と入力] → [NX!input] の  をタップ

2 [ユーティリティ] → [辞書ユーティリティ]

3  → [新規登録] → [単語] に登録する単語を入力 → [読み] に読みかたを入力 → 品詞を選択 → [登録]

登録単語を修正: 単語をタップ → 内容を修正 → [修正]

登録単語を1件削除: 単語をロングタッチ → [削除] → [はい]

登録単語を全件削除:  → [全削除] → [はい]

登録単語をmicroSDカードに保存:  → [一覧出力] → 場所欄で [sdcard] → 保存先のフォルダを選択 → ファイル名を入力 → [OK] → [実行] → [閉じる]

microSDカードに保存した単語を読み込む:  → [一括登録] → 場所欄で [sdcard] → フォルダを選択 → ファイルを選択 → [OK] → [登録] → [閉じる]

- 文字入力の確定時に自動的に学習された単語も登録する場合は、[自動登録単語は含めない] のチェックを外してください。

❖ 定型文の登録

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[NX!input]のをタップ
- 2 [ユーティリティ]→[定型文ユーティリティ]
- 3 →[新規作成]→定型文を入力→「カテゴリー」欄でカテゴリーを選択→[登録]
定型文の本文を修正：定型文をタップ→内容を修正→[登録]
 - 新規に作成した定型文の本文を修正すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、定型文のタイトル変更をしてください。定型文を削除：定型文をロングタッチ→[削除]→[はい]
定型文のタイトルを修正：定型文をロングタッチ→[タイトル変更]→内容を修正→[OK]
カテゴリーを追加：→[カテゴリー]→→[新規作成]→カテゴリー名を入力→[OK]
カテゴリーを変更：定型文をロングタッチ→[カテゴリー移動]→移動先のカテゴリーを選択
初期状態に戻す：→[初期化]→[はい]

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリケーションの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖ テキストのコピー／切り取り

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには「すべて選択」をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 [コピー]／[切り取り]

■ Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには「すべて選択」をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、表示されるメニューから「テキストを選択してコピー」をタップします。

2 [コピー]

クリップボードにコピーされます。

❖ テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動してロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆ 外付けキーボードの利用

本端末とUSBキーボードやBluetoothキーボード（HID／SPP）を接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、QADG 109キーボード、QADG 109Aキーボードに対応しています。

❖ 外付けキーボードの接続

- Bluetoothキーボードの接続方法→P91

■ USBキーボードの接続

1 USBキーボードと本端末の外部接続端子を接続

❖ 外付けキーボードの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]

- 外付けキーボードが接続されていると、物理キーボード欄が表示されます。

2 物理キーボードで任意のキーボードを選択→[キーボードレイアウトの設定]→任意のキーボードレイアウトにチェック→→任意のキーボードレイアウトを選択

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。をタップしていつでも呼び出すことができます。

- 左右にフリックして前後の画面を表示することができます。



- ① Google検索／音声検索
- ② アプリケーションメニューを表示→P44
- ③ カスタマイズエリア
ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。
- ④ ステータスバー→P45
ステータスバーの時計やアイコンをタップすると、通知パネルが表示されます。→P46

◆画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットなどを自由に配置できます。

❖ショートカットやウィジェットの追加

- 1 アプリケーションメニューで[アプリ]／[ウィジェット]
- 2 追加するショートカットやウィジェットをロングタッチ→そのままカスタマイズする画面にドラッグ→任意の位置で指を離す
 - 項目をロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。
 - ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。
 - ショートカットをロングタッチして他のショートカットの上にドラッグすると、ショートカットを統合したフォルダが作成できます。
 - フォルダをタップしてフォルダ名欄を選択すると、フォルダ名を変更できます。

❖ ショートカットやウィジェットの削除

- 1 ホーム画面で左右にフリックしてカスタマイズする画面を表示
- 2 削除するショートカットやウィジェットをロングタッチ→そのまま  削除 にドラッグ→アイコンが赤色に変わったら指を離す

◆ ホーム画面の壁紙の変更

- 1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ
- 2 [ギャラリー] / [ライブ壁紙] / [壁紙] → 項目の選択や設定を行う

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、本端末の設定を変更したりできます。

- アプリケーションによっては、起動時に「画面適合ズーム」の確認画面が表示されます。[OK] をタップすると、アプリケーションの表示サイズが本端末に合わせられ、次回から確認画面は表示されません。

◆ アプリケーションメニューの表示

- 1 ホーム画面で  アプリ
アプリケーションメニューが表示されます。
- 2 [アプリ] / [ウィジェット] → 左右にフリックしてページ切り替え
ソートして表示：[表示順] → [名前順] / [ダウンロード順]
アプリ情報の確認：ショートカットをロングタッチ→そのまま [アプリケーション情報] にドラッグ
• アプリケーションによっては、ショートカットをロングタッチ→そのまま [アンインストール] にドラッグして、アプリケーションのアンインストールができます。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのキー

画面左下のナビゲーションバーに、画面を操作するためのキー（アイコン）が表示されます。キーの名称と動作は次のとおりです。



ナビゲーションバー

バックキー

タップ：直前の画面に戻る、アプリケーションの終了

ホームキー

タップ：ホーム画面に戻る→P43

ロングタッチしてGoogleまでドラッグ：Google検索の起動

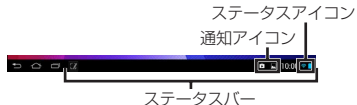
タスクキー

タップ：アプリケーションの使用履歴の表示

ロングタッチ：タスクマネージャの起動→P48

◆ ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。



ステータスアイコン

通知アイコン

ステータスバー

■ 主な通知アイコン

- ✉：新着Gmail
- ✉：新着Eメール
- 📶：Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能
- 📶：データのアップロード完了
- 📶：データのダウンロード完了
- 📱：Google Playなどからのアプリケーションがインストール完了／Google Playのアプリケーションがアップデート可能
- 📷：スクリーンショットで画像を保存
- 🎧：イヤホン接続中（タブレットのマイクからの入力）
- 🎧：イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
- 📶：ワンセグ受信／録画中
- 🕒：NX!エコ（タイマーエコモード時間帯1）
- 🕒：NX!エコ（タイマーエコモード時間帯2）
- 🔋：NX!エコ（電池残量エコモード）
- 🔋：NX!エコ（今すぐエコモード）
- 📍：GPS測位中
- 🔒：VPN接続
- 🔊：Dolby Digital PlusがON

■ 主なステータスアイコン

- ▲：機内モード
- Wi-Fi：Wi-Fi接続中
- Wi-Fi：Wi-Fi通信中
- Bluetooth：Bluetooth機能ON
- Bluetooth：Bluetooth機器接続中
- 🔋：要充電
- 🔋：電池残量がほとんどない
- 🔋：電池残量が少ない
- 🔋：電池残量十分
- 🔋：充電中
- 🔇：マナーモード（通常マナー）
- 🔇：マナーモード（サイレントマナー）
- 🔇：マナーモード（アラームONマナー）
- 🔇：マナーモード（オリジナルマナー）
- 📞：IP通話アプリの音質サポート

✓お知らせ

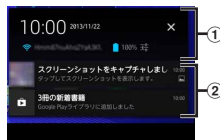
- ステータスバーに表示されている🔋をタップすると、キャプメモを利用できます。

◆ 通知パネル

通知パネルを開くと、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりすることができます。

1 ステータスバーの時計やアイコンをタップ

- 🔋以外をタップしてください。



① 通知パネル

日時、Wi-Fiアクセスポイント名、電池残量や端末の状態（ステータス）などの表示

- 🔋が表示されているときに通知パネルをタップすると、通知情報一覧が設定パネルに切り替わります。
→P47

② 通知情報一覧

通知アイコン、通知の内容などの表示

- 各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- 通知パネルの[X]をタップすると、通知情報が消去されます。通知によっては[X]が表示されません。

通知パネルと通知情報一覧を閉じる：通知パネルと通知情報一覧以外のエリアをタップ

◆ 設定パネル

通知パネル下の表示を、設定パネルに切り替えます。

1 ステータスバーの時計やアイコンをタップ →通知パネルをタップ



① 通知パネル

- 時計やアイコンが表示されているときに通知パネルをタップすると、設定パネルが通知情報一覧に切り替わります。
→P46

② 設定パネル

- 各種設定のON/OFF切り替えや設定メニューの表示
- 設定メニュー→P61

通知パネルと設定パネルを閉じる：通知パネルと設定パネル以外のエリアをタップ

◆ ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、[スリープ] の設定に従ってディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。



1 スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

手動でスリープモードにする：

✓お知らせ

- 指紋センサーを押しても、スリープモードにしたり解除したりできます。

◆ ロック画面が表示されたら

- 1 ロック画面のをまでスライド
ロックが解除されます。



✓お知らせ

- 指紋センサーに指をスライドしても、ロック画面を解除できません。指紋センサーを押してスリープモードを解除した後に操作する場合は、センサーから一度指を離れた後、指をスライドさせてください。
- ロック画面のをにスライドするとカメラが起動し、をにスライドするとGoogleの検索が起動します。画面ロックの認証設定が有効の場合は、認証操作後にGoogleの検索が起動します。
- 画面ロックの認証設定が無効の場合は、ロック画面で通知パネルを表示できます。

◆ タスク管理

をタップするなどしてアプリケーションの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリケーションが実行中の状態になることがあります。本機能より実行中のアプリケーションを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 をロングタッチ

タスクマネージャが起動して、実行中のアプリケーションが表示されます。

- をタップすると、最近使用したアプリケーションが表示されます。サムネイルをタップするとアプリケーションを起動できます。サムネイルをロングタッチすると、リストから削除したりアプリ情報を確認したりできます。

2 目的の操作を行う

アプリケーションの表示：[表示]

アプリケーションの終了：[終了] / [すべて終了]

◆ スライドインランチャーについて

初期状態では、画面の左端（下）から指をスライドすることでスライドインランチャーを呼び出すことができます。スライドインランチャーのショートカットからアプリケーションを起動することができます。

- スライドイン機能設定の使いかた→P86

バックアップと復元

本端末の内蔵メモリやmicroSDカードに、画像や音楽などのバックアップ／復元を行います。

1 アプリケーションメニューで[Backup]

2 [バックアップ]／[復元]

バックアップ：画像や音楽などのバックアップを行います。

復元：バックアップした画像や音楽などを復元します。

本端末の初期化

本端末を初期状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、すべて削除されます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[初期化]→[データの初期化]→[タブレットをリセット]

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

2 [すべて消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

✓お知らせ

- プライバシーモード中に端末の初期化を行うと、プライバシーモード設定をしているmicroSDカード内のデータは、アクセスできなくなります。microSDカードを取り付けた状態でプライバシーモードを無効にしてから、初期化を行ってください。→P82
- タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

電話帳

NX! 電話帳の使いかた

NX! 電話帳には電話番号やメールアドレスなどの連絡先情報を入力できます。

1 アプリケーションメニューで[NX! 電話帳]



連絡先画面

① 表示切り替えタブ

タップしてお気に入りやグループなどのカテゴリ別に表示を切り替えます。

② 検索

③ 手書き検索

④ 新規作成

⑤ 表示中の個人情報を編集

⑥ メニュー

⑦ 自分（プロフィール）

タップして個人情報画面を表示します。

初期状態では、「プロフィールを設定」をタップして編集画面で情報を登録すると情報が表示されます。

⑧ 顔写真

⑨ インデックスパー

⑩ 名前

タップして個人情報画面を表示します。

⑪ 連絡先リスト

⑫ お気に入り

タップするとグレーから青色に変わり、お気に入りに登録できます。

⑬ 個人情報

項目をタップしてメール送信などができます。表示される項目は登録内容によって異なります。

⑭ インデックス

文字を選択して連絡先を検索できます。

❖ 連絡先のメニューについて

連絡先画面で [] をタップすると、次のメニューを操作することができます。

手書き検索：手書きで連絡先を検索します。

インポート／エクスポート：microSDカードを利用しての保存や、メールなどに添付して送信します。→P51
共有：Bluetooth通信やメールに連絡先を添付して送信します。

アカウント：アカウントの設定をします。

アカウント変更：連絡先のアカウントを変更します。

グループを追加：グループを追加します。→P51

連絡先を削除：連絡先を1件削除します。

連絡先を選択削除：連絡先を複数件選択して削除します。

◆ グループの新規作成

連絡先のメニューから、グループの作成、グループ名の変更、グループの削除ができます。グループはGoogleアカウントなど、グループに対応したアカウントでご利用いただけます。

- 1 連絡先画面で  → [グループを追加] → 必要に応じてアカウントを選択 → グループ名を入力 → [完了]

グループ名の変更：連絡先画面の表示切り替えタブでグループを選択 →  → [グループを編集] → グループ名を変更 → [完了]

グループの削除：連絡先画面の表示切り替えタブでグループを選択 →  → [グループを削除] → [OK]

◆ 連絡先を登録

- 1 連絡先画面で  → 必要に応じてアカウントを選択 → 各項目を設定 → [完了]

◆ 連絡先の編集

- 1 連絡先画面で編集する連絡先を選択 →  → 変更する項目を入力 → [完了]

◆ 連絡先の削除

- 1 連絡先画面で削除する連絡先を選択 →  → [連絡先を削除] → [OK]
 - 連絡先画面で  → [連絡先を選択削除] をタップすると、連絡先を選択して削除できます。[全選択] をタップすると、全件削除できます。

◆ 連絡先のインポート／エクスポート

- 1 連絡先画面で  → [インポート／エクスポート] → 項目を選択 → それぞれの操作を行う

ストレージからインポート：microSDカードに保存されている連絡先データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。

ストレージにエクスポート：「プロフィール」を除く連絡先データ（vCardファイル）を、microSDカードにアカウントを選択して保存したり、全件保存したりします。

表示可能な連絡先を共有：連絡先データをBluetooth通信やメールに添付して全件送信します。

メール／インターネット

Eメール

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✓お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で[手動セットアップ]をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B (Outbound Port 25 Blocking)：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で ⓘ → [設定] → [アカウントを追加] をタップします。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、[CC/BCCを追加]をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、 をタップし、画面の指示に従って操作します。

6 [送信]

✓お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

- 1 アプリケーションメニューで[メール]
 - 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。
アカウントをタップして[統合ビュー]をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在して表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

- 2 受信トレイを更新するには

- 「統合ビュー」を利用している場合は、各メールアカウントの表示に戻してをタップします。

- 3 Eメールを選択

✓お知らせ

- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度とメール着信通知(→P53)を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

◆ Eメールに返信

- 1 Eメールを表示→/→[メールを作成します]→メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを転送

- 1 Eメールを表示→→[To]→メールアドレスを入力→[送信]

◆ Eメールを削除

- 1 Eメール一覧を表示→メールにチェック→

◆ Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖ Eメールの全般の設定

- 1 アプリケーションメニューで[メール]
- 2 →[設定]→[全般]
- 3 各項目を設定
 - 自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。
 - メッセージの文字サイズ：文字サイズを設定します。
 - 画像の自動表示を解除：インライン画像の自動表示の設定を手動で表示するように設定解除します。

❖ Eメールのアカウント設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。
- 1 アプリケーションメニューで[メール]
 - 2 →[設定]→アカウントを選択
 - 3 各項目を設定
 - アカウント名：アカウント名を編集します。
 - 名前：名前を編集します。
 - 署名：署名を登録します。

クイック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。

優先アカウントにする：Eメール作成時にこのアカウントを優先するかを設定します。

受信トレイの確認頻度：受信トレイの確認頻度を設定します。

同期する日数：同期する日数を設定します。

メールを同期する：メールを同期するかを設定します。

連絡先を同期：連絡先を同期するかを設定します。

カレンダーを同期：カレンダーを同期するかを設定します。

添付ファイルのダウンロード：Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。

メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：Eメール受信時のバイブレーション動作を設定します。

受信設定：受信サーバーについて設定します。

送信設定：送信サーバーについて設定します。

アカウントを削除：アカウントを削除します。

❖ Eメールのバックアップ／復元

1 アプリケーションメニューで[メール]

2  → [設定] → [バックアップ／復元] → [microSDへバックアップ]／[本体へ復元] → [開始] → [OK]

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Gmailの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Gmailの詳細については、受信トレイ画面で  → [ヘルプ] をご覧ください。

◆ Gmailの表示

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、Wi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。本端末には、ブラウザとしてAndroid標準の「ブラウザ」と「かんたんインターネット」(→P58)があります。

- 他に「Chrome」を搭載しています。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。現在表示しているWebページの拡大率を、次にWebページを開いたときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効 (🔒)／無効 (🔓) を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

- 1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]
- 2 画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示
- 3 アドレスバーにURL／キーワードを入力
- 4 [Go]／候補を選択

◆ 新しいタブを開く

- 最大16個のタブを開くことができます。

1 Webサイトを表示

- Webサイトの表示方法→P55

2 →[新しいタブ]／[新しいシークレットタブ]

- シークレットタブでWebサイトを表示すると、ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに閲覧できます。シークレットタブで表示するとタブにが表示されます。

切り替え：タブを選択

閉じる：タブを選択→

✓お知らせ

- Webサイト表示中にをタップしても新しいタブを開けません。

◆ 履歴からWebサイトを表示

- 1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示
- 2 →[履歴]
- 3 履歴の種別を選択
 - よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、[よく使用] をタップします。
- 4 Webサイトの履歴を選択

◆ブックマークを登録して簡単に表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→☆

ブックマークの詳細情報が表示され、ラベル名、保存先（アカウント）、追加先などを変更できます。

2 [OK]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→📌

2 ブックマークを選択

編集：ブックマーク画像をロングタッチ→[編集]→各項目を設定→[OK]

削除：ブックマーク画像をロングタッチ→[削除]→[OK]

◆先読み機能

表示中のWebサイトのリンク先ページを専用キャッシュに読み込みます。

あらかじめ読み込んでおくと、リンク先をタップした際、回線状況に関わらず素早くリンク先のページを表示することができます。

- リンク先のページによっては、本機能が利用できない場合があります。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→📌→[はい]

- 📌→[先読み] とタップしても操作できます。
- 先読み中に通知パネルを開いて[先読み中] をタップすると、先読みを中断します。

✓お知らせ-----

- 先読みしたリンク先を表示した際に、ページによっては正しく再現されない場合があります。
- 次の場合は先読みキャッシュが消去されます。
 - 先読み開始時
 - ブラウザ終了時
 - ブラウザの設定からキャッシュの消去を行った場合
 - 再読み込みを行った場合
- シークレットタブを表示している場合は、先読み機能は利用できません。

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクを操作します。

URLの場合

- **タップ**：Webサイトを開きます。
- **ロングタッチ**：Webサイトを開く、新しいタブで開く、リンクを保存、コピーします。

電子メールアドレスの場合

- **タップ**：メールを作成します。
- **ロングタッチ**：メールアドレスをコピーします。

電話番号の場合

- **ロングタッチ**：電話番号を連絡先に追加、コピーします。

ファイルの場合

- **タップ**：ファイルを閲覧、保存します。
- **ロングタッチ**：ファイルを保存します。

✓お知らせ

- 保存したファイルは、Document Viewer (→P118) などで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像を保存]

- 保存した画像は、ギャラリー (→P111) で確認できます。

◆ Webサイトの語句を辞書で検索

Webサイトに表示されている語句を辞書で検索することができます。

- ブラウザの設定の「全般」(→P57) で、[すぐ辞書を表示する] にチェックを付けて利用します。

1 Webサイト表示中にテキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。

2 表示された吹き出しをタップ

検索結果一覧が表示されます。

- 該当する語句が辞書にないときは、吹き出しは表示されません。

3 候補一覧から調べたい語句をタップ

◆ ブラウザの設定

1 Webサイト表示中に→[設定]

2 各項目を設定

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、自動入力テキスト、辞書検索について設定します。

プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報、パスワードについて設定します。

ユーザー補助: 拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、画面の反転レンダリングについて設定します。

- 「コントラスト」は「反転レンダリング」にチェックが付いている場合に調整できます。

高度な設定: 検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、プラグイン設定、ウェブサイト設定、先読み機能の設定、ページコンテンツ、初期設定リセットについて設定します。

- 先読み機能の設定で「先読み表示速度優先」にチェックを付けている場合は、先読みしたページ内JavaScriptの動作や新たな通信・更新表示などが一部制限されます。この結果、ページが正しく表示されない場合があります。なお、「先読み表示速度優先」はブラウザでタブを複数表示していないときに有効です。
- ページコンテンツの「ページの自動調整」にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。
テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

帯域幅の管理: 検索結果やウェブページのプリロード、画像の読み込みについて設定します。

Labs: クイックコントロールについて設定します。

かんたんインターネット

わかりやすく使いやすい操作で、Webサイトを閲覧できます。

◆ かんたんインターネットでWebサイト表示中の画面操作

画面上部の操作バーに表示されるボタンで操作します。

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン: 拡大／縮小します。

ダブルタップ: 拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール:  で拡大し、 で縮小します。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

■ Webページを戻る／進む

前に表示していたWebページに  戻る  進む で移動します。

■ ホームページに戻る

 ホーム でホームページに移動します。

◆ かんたんインターネットを起動してWebサイトを表示

- 1 アプリケーションメニューで[かんたんインターネット]
- 2 操作バーの[検索]→検索キーワード入力エリアにURL／キーワードを入力
- 3 [検索実行]
再読み込み：Webサイト表示中に[メニュー]→[再読み込みする]
URLなどを表示：Webサイト表示中に[メニュー]→[URLなどを表示する]→[OK]
URL入力して接続：Webサイト表示中に[メニュー]→[URLを入力して接続]→URLを入力→[接続]
ダウンロード履歴を見る：Webサイト表示中に[メニュー]→[ダウンロード履歴]
Webサイトのリンクを操作：→P57

✓お知らせ

- 検索サービスを変更することができます。→P60

◆ かんたんインターネットでブックマークを登録して簡単に表示

❖ ブックマークの登録

- 1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークに登録]→[OK]

❖ ブックマークからWebサイトを表示

- 1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークを見る]
- 2 ブックマークを選択
題名を変更：[メニュー]→[題名を変更する]→ブックマークを選択→題名を変更→[完了]→[OK]
削除：[メニュー]→[削除する]→ブックマークを選択→[削除する]→[削除する]→[OK]
並び順の変更：[メニュー]→[並び順を変更する]→項目を選択
URL表示：[メニュー]→[URLを表示する]→ブックマークを選択→[OK]
表示方法の切り替え：[メニュー]→[表示方法を切り替える]

◆ かんたんインターネットの履歴からWebサイトを表示

- 1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[閲覧履歴を見る]
- 2 履歴を選択→[接続する]
ブックマークに登録：[メニュー] → [ブックマークに登録] → 履歴を選択 → [OK]
削除：[メニュー] → [削除する] → 履歴を選択 → [削除する] → [削除する] → [OK]
URL表示：[メニュー] → [URLを表示する] → 履歴を選択 → [OK]
URLコピー：[メニュー] → [URLをコピーする] → 履歴を選択 → [OK]

◆ かんたんインターネットの設定

- 1 Webサイト表示中に[メニュー]→[インターネットを設定する]
- 2 各項目を設定
文字の大きさ：文字の大きさを選択します。
ホームページの設定：ホームページの設定方法を選択して、ホームページを設定します。
詳細設定：フォームデータ保存、パスワード保存、Cookie、JavaScriptの設定、位置情報の許可／不許可、検索サービスの選択、設定を初期状態に戻すかどうかについて設定します。

本体設定

設定メニュー

アプリケーションメニューで【設定】をタップして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー		参照
初期設定	スライドイン機能設定	26
	画面ロックの認証設定	
	セキュリティ解除方法	

■ 無線とネットワーク

メニュー		参照
Wi-Fi		64
Wi-Fi簡単登録	AOSS方式	66
	WPS方式	
Bluetooth		90
その他...	データ使用	66
	機内モード	66
	VPN設定	67
	NFC	99
	Androidビーム	
	Bluetooth Low Energy 設定	92

■ 端末

メニュー		参照
音・バイブ	音量	69
	マナーモード	67
	マイク入力	69
	IP通話アプリの音質サ ポート	69
	通知音	69
	タッチ操作音	
	画面ロックの音	
	充電通知バイブ	
	ロック解除時バイブ	
	はっきりタッチ	68
	振動の強さ	

メニュー		参照
ディスプレイ	画面の明るさ	70
	スリープ	70
	フォトフレーム	70
	壁紙	44
	ホーム画面切替	70
	ロック画面の表示	71
	ロック画面の消灯時間	71
	画面のカスタマイズ	71
	電池アイコン	71
	画面の自動回転	71
	フォント	72
	フォントサイズ	72
	インテリカラー	72
	あわせるビュー	72
スタイル設定	スタイル切替	73
	キッズ切替ガード	73
	キッズ利用アプリ選択	73
	ファミリー利用設定	73
マルチメディア	設定アプリケーションを起動	74
ストレージ	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	74
	SDカード内データを消去	
	USBストレージのマウント解除／USBストレージをマウント	94

メニュー	参照
電池	75
NX!エコ	75
アプリケーション	76

■ ユーザー設定

メニュー		参照
位置情報アクセス	位置情報にアクセス	114
	GPS機能	
	Wi-Fi接続時の位置情報	
セキュリティ	画面ロックの認証設定	77
	セキュリティ解除方法	77
	指紋設定	81
	所有者情報	79
	タブレットの暗号化	79
	パスワードを表示する	81
	パスワードマネージャー	82
	プライバシーモード設定	82
	デバイス管理機能の選択	—
	提供元不明のアプリ	84
	信頼できる認証情報	84
	SDカードからインストール	85
	認証ストレージの消去	85
	SDカード パスワード設定	85

メニュー		参照
その他...	スライドイン機能設定	86
	言語と入力	39
		42
		86
	初期化	49

■ アカウント

メニュー		参照
アカウントを追加		88

■ システム

メニュー		参照
日付と時刻	日付と時刻の自動設定	88
	日付設定	
	時刻設定	
	タイムゾーンの選択	
	24時間表示	
	日付形式の選択	
ユーザー補助	大きい文字サイズ	88
	画面の自動回転	
	パスワードの音声出力	
	テキスト読み上げの出力	
	ウェブアクセシビリティの拡張	

メニュー		参照
開発者向けオプション※	スリープモードにしない	—
	USBデバッグ	
	擬似ロケーションを許可	
	タップを表示	
	ポインタの位置	
	レイアウト境界を表示	
	ウィンドウアニメスケール	
	トランジションアニメスケール	
	Animator再生時間スケール	
	厳格モードを有効にする	
タブレット情報	CPU使用状況を表示	50
	すべてのANRを表示	
	プロフィール	
	端末の状態	
	法的情報	
	認証	
	モデル番号	
	Androidバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	

※ 本項目は、開発者向けの設定項目となりますので、開発目的で使わない場合は、設定を変えないようにご注意ください。

✓お知らせ

- [開発者向けオプション] のUSBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSBドライバをインストールする必要があります。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
<http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/download/develop/>
- [開発者向けオプション] のUSBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、次のホームページをご覧ください。
<http://developer.android.com/>

無線とネットワーク

◆ Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE 802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、通信速度の低下、雑音の原因になることがあります。また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 アプリケーションメニューで[設定]

2 [Wi-Fi]を[ON]

3 [Wi-Fi]→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

❖ Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]

2 ■→[スキャン]

❖ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]
- 2 [＋]
- 3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択
 - セキュリティは [なし] [WEP] [WPA/WPA2 PSK] [802.1x EAP] が設定可能です。
- 4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

❖ Wi-Fiネットワークの切断

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]
- 2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

❖ Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうして接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリケーションをPlayストアから入手し、インストールする必要があります。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]
 - 2 ■→[Wi-Fi Direct]
 - 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、[デバイスの検索] をタップします。
 - 3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ
Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→[OK]
- 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合
- 接続への招待画面が表示された場合は、[同意する] をタップしてください。

❖ Wi-Fiの詳細設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]

2 ■→[詳細設定]

3 各項目を設定

ネットワークの通知: Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なとき、通知するように設定します。

画面消灯時のWi-Fi設定: 本端末の画面が消灯したときや充電しているとき、Wi-Fiを使用するかを設定します。

Wi-Fi周波数帯域: Wi-Fiの周波数帯域を設定します。

MACアドレス/IPアドレス: MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

◆ Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式: [AOSS方式] →アクセスポイント側で操作

WPS方式: [WPS方式] → [プッシュボタン方式] / [PIN入力方式 (8桁)] / [PIN入力方式 (4桁)] →アクセスポイント側で操作

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK] をタップします。

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。
- AOSS™方式は2.4GHzのみに対応しています。

◆ データ使用

期間ごとやアプリケーションごとのWi-Fiネットワークでの通信使用量 (目安) を表示します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[データ使用]

◆ 機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能 (Wi-Fi機能、Bluetooth機能) が無効になります。ただし、機内モード中に手動で有効にすることができます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[機内モード]にチェック

◆ VPN (仮想プライベートネットワーク) への接続

VPN (Virtual Private Network : 仮想プライベートネットワーク) は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- あらかじめセキュリティ解除方法の「暗証番号」または「パスワード」を設定する必要があります。→P77

◆ VPNの追加

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]→[VPNプロフィールの追加]
- 2 VPN設定の各項目を設定→[保存]

◆ VPNへの接続

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]
- 2 接続するVPNを選択
- 3 必要な認証情報を入力→[接続]
 - VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。

◆ VPNの切断

- 1 通知パネルを開く
- 2 VPN接続中を示す通知を選択→[切断]

音・バイブ

◆ マナーモード

マナーモードを設定／解除します。

- マナーモードの種類は変更できます。→P68

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード]
- 2 [マナーモードを有効]にチェック
 - マナーモードが起動すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P45

✓お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴りません。

❖ マナーモードの種類を変更

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイプ]→[マナーモード]→[マナーモード選択]
- 2 項目を選択
通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らします。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。
アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。
オリジナルマナー：音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。
 - オリジナルマナーの音量を「サイレント」に設定している場合、を押すなどして音量を上げると、オリジナルマナーの音量も変更されますのでご注意ください。

❖ オリジナルマナー

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイプ]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]
- 2 [音量]
- 3 [メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

- 4 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]→
- 5 [バイブレーション]
- 6 [アラーム]にチェック／チェックを外す
- 7 [通知]にチェック／チェックを外す

◆ はっきりタッチ

タップが認識されていることを振動でお知らせするかどうかを設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイプ]→[はっきりタッチ]にチェック／チェックを外す
 - [はっきりタッチ]の振動の強さは、アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイプ]→[振動の強さ]で設定できます。[強い]／[ふつう]を選択するとスクロールやタップしたときに設定した強さで振動し、[マイルド]を選択するとスクロールしたときは振動せず、タップしたときのみ設定した強さで振動します。

◆ IP通話アプリの音質サポート

IP通話アプリの音質サポート機能を使用するかどうかを設定します。

- Voice over IPの技術を使用したアプリケーションでの通話は、ネットワークの遅延時間などにより、電話と比較して音質が劣る場合があります。本機能は、アプリケーションが実現している音質をもとに、ノイズや通話相手側に聞こえるエコー量の削減を行います。音の途切れや遅延などに関する効果はありません。
- 使用するアプリケーションによっては、本機能の効果が得られないことがあります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- アプリケーションのバージョンアップを行ったことにより、本機能の効果が得られなくなる場合があります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- 本機能はBluetoothを使用した通話時には動作しません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイプ]→[IP通話アプリの音質サポート]にチェック／チェックを外す

◆ 音量

メディア再生音、通知音、アラームの音量を調節できます。

- マナーモード中は設定できません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイプ]→[音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]

◆ 通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイプ]

2 各項目を設定

マイク入力：ステレオイヤホン接続時の音声入力先を設定します。マイクなしのステレオイヤホンを接続時は[タブレットのマイク]を選択してください。

通知音：通知音を設定します。

タッチ操作音：メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。

画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。

充電通知バイプ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

ロック解除時バイプ：ロック画面のを右にスライドして解除したときに、振動でお知らせするかどうかを設定します。

ディスプレイ

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[画面の明るさ]

2 スライダーをスライドして明るさを調節→[OK]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、[明るさを自動調整]にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調節します。

◆ スリープ

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ]→時間を選択

◆ フォトフレーム

設定した複数の画像をスライドショー形式で表示します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[フォトフレーム]

2 [フォトフレーム設定]→各項目を設定

- 設定済みの設定を変更する場合は、[フォトフレーム設定]にチェックを付けた状態で[画像設定]をタップします。

- [Flickr] / [Picasa] を選択した場合は、Flickr / Picasaからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。選択後は、[更新間隔]を設定します。
- [更新間隔]で[指定時刻]を選択した場合は、[更新時刻の指定]を選択して時刻を指定します。
- [フォトフレーム消灯時間]を選択すると、フォトフレーム起動後の消灯時間を設定できます。
- [クレードルに載せたら起動]を選択すると、卓上ホルダに端末を差し込んで充電を開始したとき、すぐにフォトフレームを起動するかどうかを設定できます。

✓お知らせ

- [更新時刻の指定]で設定した時間は、画像の自動取得を開始する時間です。取得した画像が表示される時間ではありません。
- フォトフレーム起動中は、指紋センサーの指紋読み取り機能が利用できません。

◆ ホーム画面切替

初回起動時はホームアプリに「NX!ホーム」が設定されていますが、ホームアプリをインストールして変更できません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[ホーム画面切替]→ホームアプリを選択

◆ ロック画面の表示

ロック画面を表示するかを設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[ロック画面の表示]にチェック／チェックを外す

◆ ロック画面の消灯時間

ロック画面の消灯時間を設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[ロック画面の消灯時間]→時間を選択

✓お知らせ

- 本設定より「スリープ」の設定時間が長い場合、充電中は「スリープ」で設定した消灯時間に従います。

◆ 画面のカスタマイズ

パターンの入力画面、指紋認証画面、NX!inputのキーボード画面を好みのデザインに変更できます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[画面のカスタマイズ]→各項目を設定

◆ 電池アイコン

電池アイコンを変更します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[電池アイコン]→アイコンを選択

◆ 画面の自動回転

本端末の向きに合わせて画面を自動回転させるかどうかを設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]
- 2 [画面の自動回転]にチェック／チェックを外す

✓お知らせ

- アプリケーションによっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[フォント]→フォントを選択→[OK]

- [オリジナル手書きフォント]を選択すると、オリジナルのフォントを作成して使用できます。[オリジナル手書きフォント]の[個別文字編集]を選択すると、作成した文字と自分の手書き文字を交換することができます。

✓お知らせ-----

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- アプリケーションやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。
- [オリジナル手書きフォント]の[個別文字編集]で作成した文字と自分の手書き文字を交換した場合、文字によっては文章の意味がわかりにくくなることがありますのでご注意ください。

◆ フォントサイズ

文字の大きさを変更します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[フォントサイズ]→サイズを選択

◆ インテリカラー

蛍光灯、電球、太陽光など、周囲の光環境に合わせて画面の色味を自動で調整するかを設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[インテリカラー]にチェック／チェックを外す

◆ あわせるビュー

年齢に合わせて、画面の色合いを調整します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[あわせるビュー]→各項目を設定

スタイル設定

◆ スタイル切替

スタイルを作成・設定することができます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[スタイル切替]

2 スタイルを選択

- [新規作成] をタップしてスタイルを作成することができます。また、スタイルの選択画面でスタイルをロングタッチすると、スタイル名を編集したり、スタイルを削除したりすることができます。ただし、キッズスタイル設定時は操作できません。

✓お知らせ

- キッズスタイル設定時にセキュリティ解除方法を設定していると、設定メニュー内を表示する際に認証操作が必要です。また、一部のメニュー項目を表示する際にも認証操作が必要です。

◆ キッズ切替ガード

チェックを付けると、キッズスタイル以外のスタイルに変更するときは、認証操作が必要になります。

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定してください。
→P77

1 アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[キッズ切替ガード]→認証操作

◆ キッズ利用アプリ選択

キッズスタイル設定時に利用可能なアプリケーションを選択します。

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定してください。
→P77

1 アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[キッズ利用アプリ選択]

- キッズスタイルを設定している場合は、認証操作が必要です。

2 アプリケーションを選択→[選択完了]

◆ ファミリー利用設定

標準モード／ファミリーモードを選択します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[ファミリー利用設定]→[標準モードで使う]／[ファミリーモードで使う]

マルチメディア

◆ Dolby Digital Plus設定

動画や音楽などの再生にDolby Digital Plusを使用するかどうかを設定できます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[マルチメディア]→[設定アプリケーションを起動]
- 2 各項目を設定
 -  をタップするたびにDolby Digital Plusのオン/オフが切り替わります。オンになると、ステータスバーにが表示されます。
 - Dolby Digital Plusを使用しているときと使用していないときのコンテンツの違いを聴く場合は、[Play Demo] をタップします。
 - [Movie] / [Music] / [Game] / [Voice] / [Custom1] / [Custom2] をタップすると、各プロファイルの設定画面が表示されます。
 -  をタップすると、各機能の説明が表示されます。
 -  をタップすると、選択しているプロファイルを初期状態に戻します。

ストレージ

◆ メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカード、USB接続した大容量記憶装置(USB マスストレージ)の空き容量を確認します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]
 - microSDカードは「空き容量」の他に、アプリケーションが含まれる場合は「アプリケーション」の容量が表示されます。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。
- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]
 - SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は[OK] をタップします。
 - 2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]
 - セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。
 - 3 [すべて消去]

電池

電池残量や電池使用量などを確認します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[電池]

- 画面右上の[アプリ電池診断] → [電池消費アプリ一覧] タブをタップすると、画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電池の消費に影響があるアプリケーションが表示されます。

NX!エコ

電池残量や設定した時間帯に、画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えることができます。

◆ エコモードの設定

エコモードを設定／解除します。

- エコモードが起動すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。アイコンはエコモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P45

1 アプリケーションメニューで[設定]→[NX!エコ]→各項目を設定

タイマーエコモード：設定した時間帯になると、エコモードが起動します。

電池残量エコモード：設定した電池残量より少なくなると、エコモードが起動します。

今すぐエコモード：すぐにエコモードが起動します。

✓お知らせ

- エコモードは①今すぐエコモード、②電池残量エコモード、③タイマーエコモードの優先順位で動作します。
- [充電時はエコモードを解除する] にチェックを付けると、充電中はエコモードが解除されます。
- お買い上げ時は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。充電が十分でない場合、「電池残量エコモード」が起動しないことがあります。
- 画面右上の → [電池消費アプリ一覧] タブをタップすると、画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電池の消費に影響があるアプリケーションが表示されます。

❖ エコレベルの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[NX!エコ]→各モードの[設定]→[エコレベル]

2 エコモードを選択→[決定]

- [確認] をタップすると各レベルの設定値を確認できます。オリジナルの設定値に変更することもできます。→P75

❖ オリジナルエコレベルを設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[NX!エコ]→各モードの[設定]→[エコレベル]

2 [オリジナルエコモード]→[編集]→各項目を設定→[完了]→[OK]

アプリケーション

◆ 本端末のアプリケーションに許可されている動作の表示

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]
- 2 アプリケーションを選択
 - すべての許可されている動作が表示されていない場合は、[すべて表示] をタップします。

◆ アプリケーションのデータやキャッシュの消去

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]
- 2 アプリケーションを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]
 - [データを消去] を選択した場合は [OK] をタップします。

✓お知らせ

- データの消去後は動作が不安定になる場合がありますので、本端末の再起動をおすすめします。

◆ アプリケーションの削除

- Playストアから入手したアプリケーションは、Google Play画面から削除することをおすすめします。→P99

- 初期状態でインストールされているアプリケーションによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]
- 2 アプリケーションを選択→[アンインストール]→[OK]→[OK]

◆ アプリケーションの無効化

- アプリケーションの無効化は、アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスで利用できます。無効化したアプリケーションは、アプリケーションメニューの画面（→P44）には表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]
- 2 アプリケーションを選択→[無効にする]／[有効にする]
 - [無効にする] を選択した場合は、[OK] をタップします。

✓お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリケーションを有効にすることで正しく動作します。

ロック／セキュリティ

◆ セキュリティロック

ロック画面で認証操作を必要にして、他人が不正に本端末を使用するのを防ぐことができます。

また、パスワードマネージャーを利用する場合もセキュリティ解除方法で設定した認証操作を利用できます。

◆ 画面ロックの認証設定

スリープモードから復帰したときに、画面で認証操作や顔認証、パターンの入力をするように設定します。

- 画面ロックの認証設定を有効にするには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→ P77

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[画面ロックの認証設定]→認証操作

✓お知らせ

- アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[電源ボタンですぐにロックする]にチェックを付けると、 / 指紋センサーを押してすぐに画面ロックがかかり、解除するには認証操作や顔認証をする操作、パターン入力操作が必要になります。

◆ セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除や、パスワードマネージャーなどで使用する認証操作の種類を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作／顔認証／パターン入力

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 解除方法を選択

パターン：最低4つの点を結びパターンでロック解除するように設定します。

- 画面ロック解除時にパターンを表示させない場合は、アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[パターンを表示する]のチェックを外します。

暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロック解除するように設定します。

パスワード：パスワード（英字を含む4～16桁の英数字と記号）でロック解除するように設定します。

指紋：指紋認証でロック解除するように設定します。

- 指紋認証を利用する場合は、留意事項（→P79）を確認してから指紋登録をしてください。
- すでに指紋を登録している場合で、初めてセキュリティ解除方法を設定するときは、[指紋]をタップした後に指紋認証の操作が必要です。

顔認証：顔認証でロック解除するように設定します。

- 顔認証に設定した場合、画面ロックの解除のみ顔認証で操作します。画面ロックの解除以外のセキュリティ解除では、バックアップのロックで選択した解除方法で操作します。
- 顔認証時にまばたきを必要にする場合は、アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[生体検知]のチェックを付けます。

✓お知らせ

- 顔認証以外の認証時に振動させる場合は、アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[タッチ操作パイプ]のチェックを付けます。
- 認証ストレージを利用している場合、セキュリティ解除方法は暗証番号とパスワードのみ使用できます。
- 認証ストレージを利用している場合、指紋と併用する解除方法を設定すると、電源を入れ直したあと一時的に指紋認証が利用できなくなることがあります。この場合、指紋と併用する解除方法で一度認証すると、以降は指紋認証が利用できるようになります。

❖画面の自動ロック

- 画面の自動ロックを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P77

- アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[自動ロック]→時間を選択
スリープモードになってから設定した時間が経過すると、自動的に画面ロックがかかります。

❖画面の手動ロック

- ／指紋センサーを押す
スリープモードになり、画面ロックがかかります。

❖画面ロックの解除

- スリープモード中に ／指紋センサーを押す
- ロック画面の  を  までスライド→セキュリティ解除方法に応じて解除操作
 - ロック画面の表示(→P71)によっては、ロック画面での操作は不要です。
 - 指紋認証の場合、操作1で指紋センサーを押したときは、指を指紋センサーから離してから、指紋センサー上を登録した指でスライドして解除ができません。
 - 指紋認証ができないときは、他の解除方法のボタンをタップして認証操作ができます。

❖解除方法を忘れたときは

画面ロックの解除方法を忘れたときは、次の操作で新しいセキュリティ解除方法を設定してから解除してください。

- ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にやり直すことができます。
 - Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。
- ロック解除画面で[パターンを忘れた場合]／[暗証番号を忘れた場合]／[パスワードを忘れた場合]→Googleアカウントでログイン→画面に従って新しいセキュリティ解除方法を設定

◆ ロック画面に所有者情報を表示

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[所有者情報]

2 所有者情報を入力

- [ロック画面に所有者情報を表示] のチェックが外れている場合は、チェックを付けます。

◆ タブレットの暗号化

タブレットにあるすべてのデータ（設定、アプリを含む）を暗号化します。暗号化後は電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードでの復元が必要です。暗号化を解除するには、本端末の初期化が必要です。

- あらかじめセキュリティ解除方法の「暗証番号」または「パスワード」を設定する必要があります。→P77

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[タブレットの暗号化]→[タブレットを暗号化]→認証操作→[タブレットを暗号化]

✓お知らせ

- 暗号化後、電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードの入力画面が表示されますが、このときにキーボードの「」をロングタッチして表示されるをタップして[入力言語] / [Googleキーボードの設定]を選択すると、パスワード入力画面に戻ることができません。この場合は、本端末を再起動してください。なお、設定を変更して再起動しても、[入力言語] / [Googleキーボードの設定]の変更は反映されません。

◆ 指紋認証機能

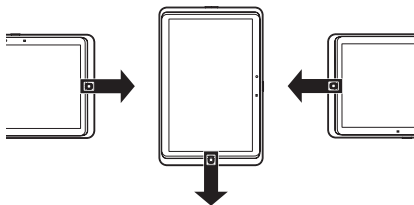
指紋認証機能は、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。

◆ 指紋認証機能利用時の留意事項

指紋認証機能利用時の留意事項は次のとおりです。

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
 - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
 - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
 - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

- 指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行／垂直になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで、図のように下／横方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。



- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。

- 端末を、デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 指紋センサー利用時の留意事項

指紋センサー利用時の留意事項は次のとおりです。

- 指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
 - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
 - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
 - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
 - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする

- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖ 指紋登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋認証を利用するには、2件以上の指紋登録が必要です。最大10件登録できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[指紋設定]

- セキュリティ解除方法が設定されている場合は、認証操作が必要です。また、セキュリティ解除方法が設定されていない場合でも、すでに指紋を登録しているときは指紋認証の操作が必要です。

2 項目を選択→メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド

- 2件目も同様の操作で登録します。

登録した指紋の削除：項目を選択→[はい]

- セキュリティ解除方法が、指紋認証に設定されているときは、登録件数が2件の場合は削除できません。

3 [OK]

❖ 指紋認証の操作

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上を登録した指でスライド

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

◆ パスワードの表示

パスワードを入力するときに、入力した文字を表示するように設定できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[パスワードを表示する]にチェック

◆ パスワードマネージャー

ID (アカウント) やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。

- パスワードマネージャーを利用するにはセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P77
- 最大50件登録できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[パスワードマネージャー]→認証操作

2 →各項目を設定→[OK]

パスワードの編集: タイトルをタップ→ →各項目を編集→ [OK]

パスワードの削除: タイトルをタップ→ → [OK]

◆ プライバシーモード

プライバシーモードを設定すると、Android標準ブラウザのブックマークや画像、アプリケーションを非表示にできます。また、プライバシーモード対応アプリをダウンロードしていただくことで、特定の人物の電話帳やメールを非表示にしたり、メールの受信を非通知にしたりできます。

- NX!電話帳 (→P50) とNX!メールに対応しています。

❖ プライバシーモード利用時の留意事項

- プライバシーモードの機能説明や注意事項、対応アプリケーションについては、アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作→[機能説明・注意事項]をご覧ください。
- FUJITSUアカウントの電話帳のみプライバシーモードを設定できます。
- お気に入りやグループに登録した電話帳にプライバシーモードを設定すると、アカウントが自動で変更され、登録情報が変更されるため、お気に入りやグループに表示されなくなります。

❖ プライバシーモード設定

- プライバシーモードを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P77

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作

2 [プライバシーモード]にチェック/チェックを外す

- 注意事項が表示されたら、内容を確認して[閉じる]をタップします。[機能説明・注意事項を表示]をタップした場合は、確認後にをタップします。

❖ プライバシーモードの動作設定（電話帳）

非表示にする電話帳を指定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作→[電話帳・メールの設定]

2 各項目を設定

電話帳：プライバシーモード中、指定した電話帳／グループを非表示にするかを設定します。

電話帳設定：非表示にする電話帳／グループを指定します。

- 電話帳一覧／グループ一覧で、[アカウント変更]の画面が表示されたら [OK] をタップします。

✓お知らせ

- グループを指定すると、グループに登録した電話帳にプライバシーモードが設定されます。グループ変更などでプライバシーモード設定を解除する場合は、電話帳のプライバシーモード設定を解除してください。
- グループのプライバシーモードを解除すると、グループに登録した電話帳のプライバシーモードも解除されます。このとき、複数のグループに登録している電話帳は、他のグループにプライバシーモードが設定されていても表示されるようになります。この場合は、グループを指定し直してください。

❖ プライバシーモードの動作設定（通知）

メール受信時の動作を設定します。

- 「プライバシーモードの動作設定（電話帳）」で電話帳を指定してください。→P83

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作→[電話帳・メールの設定]→[メール通知動作設定]→項目を選択

❖ プライバシーモードの動作設定（その他の設定）

アプリケーションメニューのアイコン、Android標準ブラウザのフォルダやブックマーク、ギャラリーのアルバムや画像などを指定して非表示にします。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作→[その他の設定]

2 各項目を設定

ホーム／ブラウザ／画像：プライバシーモード中、指定したアプリケーションのアイコンをホーム画面で非表示にしたり、指定したブックマークやフォルダ／アルバム、画像を非表示にしたりするかを設定します。

ホーム設定／ブラウザ設定／画像設定：非表示にするアプリケーション、ブックマーク、フォルダ／アルバム、画像を指定します。

アプリケーション通知動作設定：プライバシーモード中、アプリケーションからの通知を非表示にするかを設定します。

- アプリケーションからの通知は、アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]の[通知を表示]を有効にした場合に表示されます。無効にした場合は、本設定に関わらず非表示になります。

文字入力予測辞書：プライバシーモード中に使用するNXlinputの予測変換辞書を設定します。

プライバシー新着通知：プライバシーモード中、非表示に指定した電話帳／グループからのメール受信時やアプリケーションからの通知などを電池アイコンの種類を変えてお知らせするかを設定します。

❖ プライバシーモード解除設定

プライバシーモードの解除方法を設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→[認証操作]→[解除設定]→[解除操作]→[標準]／[操作非表示]

❖ プライバシーモードの起動／解除

- 1 通知パネルを開いた状態で電池アイコンを右にフリック／指紋センサーを1秒以上押す

✓お知らせ

- プライバシーモードを解除した状態で画面が消灯すると、次に画面が表示されたときにプライバシーモードは起動状態になります。
- アプリケーション起動中に指紋センサーを1秒以上押すと、正常に動作しないことがあります。

◆ 提供元不明のアプリケーションのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[提供元不明のアプリ]→注意文を確認後に[OK]

◆ 認証情報の管理

VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。

❖ 信頼できる認証情報や証明書の表示

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[信頼できる認証情報]

❖ 認証情報や証明書のインストール

microSDカードから認証情報や証明書をインストールします。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[SDカードからインストール]
- 2 インストールする認証情報／証明書を選択
- 3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]
- 4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖ 認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書を消去します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[認証ストレージの消去]→[OK]

◆ SDカードパスワード設定

microSDカードにパスワードを設定して、他人が不正に使用するのを防ぎます。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。
- SDカードパスワードを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→ P77

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[SDカードパスワード設定]→認証操作

2 各項目を設定

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は[OK]をタップします。
- パスワード登録：**microSDカードのパスワード（半角16桁以内）を登録します。
- microSDカードごとに1件、最大20件登録できます。最大件数以上の登録があった場合は、最も古い日付の登録情報を削除して登録します。
- パスワード認証：**本端末以外でパスワードが設定されたmicroSDカードのパスワード認証をします。
- パスワード変更：**microSDカードのパスワードを変更します。
- パスワード削除：**microSDカードのパスワードを削除します。
- パスワード強制削除：**microSDカードのパスワードを含むすべてのデータを削除します。

■ microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の端末に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。

スライドイン機能設定

画面の端から指をスライドさせると、表示されたランチャー（アプリケーションやショートカットの一覧）からアプリケーションを起動できるように設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[スライドイン機能設定]

2 各項目を設定

- [スタートガイド] をタップすると、スライドインランチャーやキャプメモの使いかたが表示されます。

✓お知らせ

- ランチャーに登録したアプリケーションが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリケーションと共有したりできます。

- 画面によってはキャプチャできない場合があります。
- あらかじめ、キャプメモをスライドスポットに登録する必要があります。

1 スライドスポットから画面の中央方向にスライドし、キャプメモ領域で指を離す

2 目的の操作を選択

- キャプチャした画像は、ギャラリーの[スクリーンショット]に保存されます。
- ブラウザ表示中にWebページをキャプチャした場合は、URLの情報も同時に取得されます。共有時にURLの情報も取得するかどうかは、画像編集画面で→[URL共有設定]で設定できます。

言語と入力

- ATOKについては「NX!inputとATOKの設定」をご覧ください。→P39

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[Language]→[English]

✓お知らせ

- アプリケーションによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
アプリケーションメニューで [Settings] → PERSONAL : [More...] → [Language & input] → [言語] → [日本語]

◆ 単語登録

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[ユーザー辞書]→
- 2 各項目を設定
フレーズ：登録する単語を入力します。
ショートカット：入力した文字でフレーズを変換候補に表示します。
言語：登録した単語を使用する言語を設定します。

◆ Googleキーボードの設定

Googleキーボードのキー操作音やテキストの自動修正などを設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[Googleキーボード]の→各項目を設定

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[音声検索]
- 2 各項目を設定
言語：Google音声検索時に入力する言語を設定します。
音声出力：音声入力を常に利用するかを設定します。
不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
オフライン音声認識のダウンロード：オフライン時に音声入力を利用できるように設定します。
Bluetoothヘッドセット※
※ 本端末では対応していません。

◆ テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグインの読み上げ速度を設定します。

- 初期状態では、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[テキスト読み上げの出力]
- 2 [音声の速度]→速度を選択

アカウントを追加

◆ アカウントを追加

- 1 アプリケーションメニューで[設定]
- 2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→各項目を設定
アカウントを設定：アカウントの種類を選択→アカウントを選択→各項目を設定

✓お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。

◆ アカウントの削除

- 1 アプリケーションメニューで[設定]
- 2 アccountの種類を選択→アカウントを選択→→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✓お知らせ

- FUJITSUアカウントは削除できません。

◆ 手動で同期を開始

- 1 アプリケーションメニューで[設定]
- 2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→→[今すぐ同期]

❖ 同期の中止

- 1 同期中に→[同期をキャンセル]

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[日付と時刻]→各項目を設定
 - [日付と時刻の自動設定] のチェックを外すと、日付と時刻を手動で設定できます。

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

- 初めて起動したときは、スクリーンリーダーを利用するかの確認画面が表示されます。
- 1 アプリケーションメニューで[設定]→[ユーザー補助]→各項目を設定

タブレット情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[タブレット情報]

2 項目を確認

プロフィール：プロフィール情報の設定、確認をします。

端末の状態：電池の状態、シリアルナンバーなどを確認します。

法的情報／認証：オープンソースライセンスやGoogle利用規約、認証ロゴを確認します。

モデル番号／Androidバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を確認します。

ファイル管理

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✓お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P133
- ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると通信速度の低下、雑音の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーにが表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]を[ON]／[OFF]

- aptXについての画面が表示されたら[OK]をタップします。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で音楽を聴いたり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

- 接続するBluetooth機器が表示されないときは、[デバイスの検索]をタップします。

2 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合
Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]をタップするか、[ペア設定する]をタップしてください。

✓お知らせ

- 接続するBluetooth機器に表示されない場合は、[他のBluetoothデバイスには非表示]／[ペア設定したデバイスにのみ表示]をタップして[周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示]にし、接続先のBluetooth機器でデバイスの検索を行ってください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー(→P111)や連絡先などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をロングタッチ

2 →[Bluetooth]／

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

- 1 Bluetooth機器からファイルを送信
- 2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→
[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]
 - 受信したファイルは、アプリケーションメニューで
[設定] → [Bluetooth] →  → [受信済みファイルを表示] で確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→
[Bluetooth]
- 2 Bluetooth機器をタップ→[OK]

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→
[Bluetooth]
- 2 Bluetooth機器の→[ペアを解除]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→
[Bluetooth]
- 2 Bluetooth機器の→[名前を変更]→機器
名を入力→[OK]

◆ Bluetooth Low Energy設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→無線
とネットワークの[その他...]→[Bluetooth
Low Energy設定]

2 各項目を設定

Alert Notification：メール受信時などに対応機器に通知するかを設定します。

Find Me通知音：対応機器から通知を受けたときの音を設定します。

Proximity：接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。

- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time：Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。

- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がオンの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✓お知らせ

- マナーモードの設定に関わらず、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

外部機器接続

◆ microSDカードのデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル（市販品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内蔵ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7、Windows 8に対応しています。ただし、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSDカードがマウントされていない場合は、アプリケーションメニューで【設定】→【ストレージ】→【SDカードをマウント】をタップします。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 通知パネルを開く→【メディアデバイスとして接続】→【メディアデバイス(MTP)】／【カメラ(PTP)】

- Windows XPでは【メディアデバイス (MTP)】を選択してください。【カメラ (PTP)】を選択すると本端末のmicroSDカードのデータを正しく表示できない場合があります。

3 プログラムを選択→プログラムの画面の表示に従って操作

4 目的の操作を行う

✓お知らせ

- 【カメラ (PTP)】を選択している場合は、microSDカードを取り外しているときのみ本端末の内蔵ストレージのデータをパソコンから操作できます。

◆ USBマストレージとのデータやりとり

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル（市販品）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

- すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBマストレージのUSBコネクタをUSBケーブルのソケットに差し込む

- USBマストレージ（複数接続した場合は1台のみ）が自動でマウントされます。

2 目的の操作を行う

✓お知らせ

- ACアダプタ付きのUSBマストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。
- ブラウザ、カメラ、ワンセグなどと同時に使用中は、ホスト機能停止の警告が表示される場合があります。その場合は、使用中の機能を停止してから操作してください。

◆USBマストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]→[USBストレージのマウント解除]→USBケーブルを取り外す

◆MHL接続でテレビに表示

テレビに動画、画像、ブラウザ画面、ワンセグなどを表示します。

- 本端末とHDMI端子付きのテレビを接続するには、HDMIプラグ (Type A) に対応した、HDMI規格認証品 (カテゴリ 2推奨) のHDMIケーブル (市販品) とMHL/HDMI変換ケーブル (市販品) が必要です。接続するときは、ケーブルの取扱説明書をご覧ください。また、MHLに対応したテレビとはMHLケーブル (市販品) を使用することで接続できます。
- すべてのHDMI機器との動作を保証するものではありません。

1 HDMIケーブルとHDMI変換ケーブルを接続

- HDMI変換ケーブルの接続方法については、HDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続

- HDMI端子への接続方法や入力切り替え、音量の調整などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本端末の外部接続端子にHDMI変換ケーブルを接続

- テレビ表示中にHDMIケーブルが抜けると、一定時間接続待ち状態になります。

✓お知らせ

- HDCP非対応のテレビと接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。
- MHL出力開始時、接続するテレビによっては入力切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコンなどで入力を切り替えてください。
- 接続するテレビによっては本端末から出力するデータが画面に収まらない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外すことをおすすめします。
- ワンセグ視聴時には、受信状態に影響がある場合があります。次の方法で受信状態が良くなる場合があります。
 - TVアンテナを十分伸ばしてください。
 - 本端末をできるだけテレビから離してください。
 - テレビと接続するケーブルをできるだけTVアンテナから離してください。
 - 本端末の向きやTVアンテナの向きを変えてみてください。

DLNA対応機器との連携

本端末のmicroSDカードに保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P64
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器間での連携を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

◆ DiXiM Serverの設定

本端末のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]

- Wi-Fi設定の確認画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 → [DiXiM Serverの設定]

- [DiXiM Server]の確認画面が表示されたら、[はい]をタップします。

3 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、サーバー機能がオンになります。

サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更します。

アクセス権の設定：[アクセス権の初期設定]にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、[接続機器の一覧]でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。

保存先設定：DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。microSDカードまたは本体メモリに保存できます。

公開フォルダ設定：接続機器に公開するコンテンツのフォルダを設定します。

Wi-Fi設定：Wi-Fiネットワークの接続を設定します。

起動時のメッセージ：起動したときにメッセージを表示するかを設定します。

画面ロック中の動作：画面ロック解除の認証が必要な場合でも、サーバーの動作を継続するかどうかを設定します。

◆ 本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器側で操作

- 本端末のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

✓お知らせ

- 本端末のカメラで撮影した動画などは、FAR70B以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆ 本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

- 1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]
- 2 サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択
- 3  → [コンテンツタップ時の動作] → [リモート機器で再生]
- 4 [リモート再生機器の選択方法] → [その都度選ぶ] / [あらかじめ決めておく]
 - [その都度選ぶ] を選択した場合は、操作6に進みます。
- 5 [既定のリモート再生機器] → 再生先のDLNA対応機器を選択
- 6  → 再生する種別を選択 → フォルダを選択 → コンテンツを選択
 - 操作4で [その都度選ぶ] を選択した場合は、リモート再生機器一覧から選択してください。

◆ DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

- 1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]
 - 2 サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択
 - 3  → [コンテンツタップ時の動作] → [この端末で再生]
 - [コンテンツタップ時の動作] で [リモート機器で再生] を選択し、リモート機器の再生先を選択することで、別のDLNA対応機器で再生することもできます。
 - 4  → 再生する種別を選択 → フォルダを選択 → コンテンツを選択
 - 5 プレーヤー画面で再生
 - ドラマなどの連続放送の録画番組は、コンテンツが終了すると次のコンテンツを連続して再生します。
 - プレーヤーとしてコンテンツの再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。
- ✓お知らせ
- コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチ →  をタップすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、DLNA対応機器によっては著作権保護されたコンテンツがダウンロードできない場合があります。

◆ デジタル録画番組を持ち出して再生

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめDLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

- 1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]
- 2 [サーバー起動]→[はい]
- 3 DLNA対応機器からアップロードを実行
[保存先設定] で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。→P95
- 4 →持ち出し番組一覧で再生するコンテンツを選択

アプリケーション

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ アプリケーションをインストール

1 アプリケーションメニューで[Playストア]

Google Playの画面が表示されます。

- 初回起動時は利用規約を読み、[同意する] をタップします。

2 アプリケーションを検索→アプリケーションを選択

3 [インストール] [無料アプリケーションの場合] / [金額] [有料アプリケーションの場合]

- アプリケーションによって表示される内容は異なります。
- アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で[同意する] をタップすると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。有料アプリケーションの場合、支払方法を設定していないときは[続行] をタップして支払方法を設定し、最後に[同意する] をタップします。
- 有料アプリケーションの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。
アプリケーションの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリケーションにつき1回のみ有効）。アプリケーション購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、Google Play画面で  → [ヘルプ] をタップしてご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーに  が表示されます。

✓お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。
- アプリケーションメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助プラグインは、ユーザー補助プラグインの一覧画面で有効にすることができます。
→P88

◆ Google Playのアプリケーションの削除

- 1 Google Play画面で画面右上の
- 2 アプリケーションを選択
- 3 [アンインストール]→[OK]

◆ Google Playのヘルプ

- 1 Google Play画面で→[ヘルプ]

Androidビーム

NFC (Near Field Communication) に対応した端末間で互いのNFCマークをかざすと、画面に表示したコンテンツをAndroidビーム機能で転送できます。

- Androidビームを利用するには、あらかじめAndroidビーム機能をONに設定しておく必要があります。
- アプリケーションによっては、Androidビームをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリケーションによって異なります。
- 卓上ホルダで充電中は、[Androidビーム] の設定はできません。卓上ホルダから取り外して設定してください。
- すべてのAndroidビーム機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

- 1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]
- 2 [NFC]にチェック
- 3 [Androidビーム]→画面右上を[ON]/[OFF]

※ 画面に表示したコンテンツを転送する

- 1 対応端末それぞれのAndroidビーム機能を利用可能に設定
- 2 送信側の端末で転送するウェブサイトや地図などを表示

3 対応端末のNFCマークを近づける

対向機を検知すると通知音が鳴り、送信側の端末の画面が縮小表示され、「タップしてビーム」と表示されます。

4 転送する画面をタップ

受信側の端末に、送信側で表示されていた内容が転送され表示されます。

◆NFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざす際の注意事項

- 本端末の裏側にある次のNFCマークを対向機にゆっくりとかざしてください。



- NFCマークを対向機にかざす際に、強くぶつけないようにご注意ください。
- NFCマークは対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
- NFCマークを対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- NFCマークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会
<http://www.dpa.or.jp/>

◆ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、Wi-Fi接続が必要です。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、放送波を受信しています。そのため、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

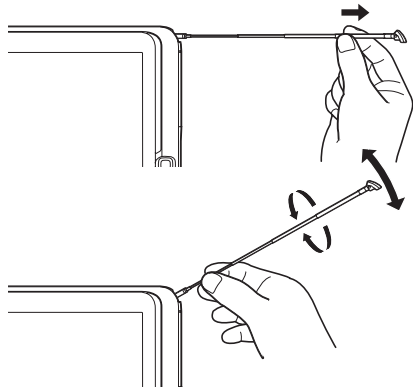
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、TVアンテナを十分伸ばしてください。また、TVアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

■ TVアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、TVアンテナが放送電波を受信します。

- TVアンテナを引き出すときは、最後までしっかり引き出してください。
- TVアンテナの方向を変えるときは、TVアンテナの根元近くを持って行きます。無理に力を加えないでください。



- TVアンテナを収納するときは、TVアンテナの根元を持って止まるまで入れます。TVアンテナの先端を持って収納しないでください。

◆ ワンセグの起動

1 アプリケーションメニューで[テレビ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、使用許諾を読んで【同意する】をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P106

✓お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声途切れたり、停止したりする場合があります。
- ワンセグ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、スクリーンショットは実行できません。

◆ ワンセグ視聴画面について



① テレビ映像エリア

- 全画面表示でタップして選局ボタンの表示
- ダブルタップして全画面／視聴画面の切り替え
- ロングタッチして画面の向きを固定／解除
- 左右にスライドしてチャンネルの切り替え

② 字幕表示エリア

③ チャンネル、放送局、番組名

- タップして番組内容の表示

④ データ放送エリア

- 横画面でのみ表示

⑤ データ放送の操作ボタン

- 横画面でのみ表示

⑥ 選局ボタン

⑦ チャンネル切り替えボタン

- ロングタッチして、チャンネルサーチの実行
未登録の放送局が見つかったときは、[チャンネルリスト] → [チャンネル追加] → [はい] をタップすると、チャンネルリストに追加できます。

⑧ 左にスライドして録画開始／右にスライドして録画終了

音量調節

番組表の表示

録画リストを表示して再生

予約リストを表示

ワンセグのメニューを表示

◆ ワンセグの終了

1 ワンセグ視聴画面で[終了]→[終了]

◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖ テレビリンクの登録

- 1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択
 - テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖ テレビリンクの表示

- 1 ワンセグ視聴画面で  → [TVリンク] → テレビリンクを選択
登録されたサイトに接続します。

❖ テレビリンクの削除

- 1 ワンセグ視聴画面で  → [TVリンク]
- 2 テレビリンクを選択（ロングタッチ）→ [削除] → [はい]
テレビリンクをすべて削除： → [全件削除] → [はい]
テレビリンクを選択削除： → [選択削除] → テレビリンクを選択 → [削除] → [はい]
 - テレビリンクを選択するときに [一括選択] / [一括解除] をタップして一括操作ができます。

◆ 録画予約／視聴予約

テレビ番組の録画や視聴の予約ができます。

- 1 ワンセグ視聴画面で 
予約リストが表示されます。
- 2 [録画予約] / [視聴予約] → [新規録画予約] / [新規視聴予約] → [番組表から予約] / [手動で予約]
- 3 各項目を設定 → [完了]

✓お知らせ

- 予約した時刻になると、予約アラーム設定で設定した時間に従って、予約通知画面が表示され、アラーム音や振動でお知らせします。
- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。
- 手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して予約録画を開始します。

❖ 予約内容の確認

1 ワンセグ視聴画面で → [録画予約] / [視聴予約]

録画予約一覧／視聴予約一覧が表示されます。

2 予約をタップ

✓お知らせ

- 録画予約一覧／視聴予約一覧画面で予約をロングタッチすると、[予約の詳細] / [予約を編集] / [予約を削除] を操作できます。

❖ 録画予約結果の確認

1 ワンセグ視聴画面で → [録画予約結果]

予約結果一覧が表示されます。

- [全件消去] をタップしてすべての予約結果を消去できます。

2 予約結果をタップ

予約結果の詳細が表示されます。

- 予約結果をロングタッチすると、[予約結果の詳細] / [予約結果を削除] を操作できます。

◆ ワンセグ録画

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画して microSD カードに保存します。

1 ワンセグ視聴画面で を左にスライドして 録画を開始

- ワンセグ視聴画面 → P102

2 を右にスライドして録画を終了

✓お知らせ

- あらかじめ本端末でフォーマットした microSD カードを使用してください。
- 録画を開始するには microSD カードの空き容量が 10MB 以上、電池残量が 20% 以上必要です。
- 録画中に次の状態になると録画が自動で停止します。
 - microSD カードの空き容量が 2MB 以下
 - 電池残量が 10% 以下
 - 録画開始から 6 時間経過
- 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- 録画時間が極端に短い（10 秒以下）場合は、録画停止できません。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中は、チャンネル切り替えはできません。
- 録画と MTP 転送など、負荷が大きな機能を同時に使用すると、正常に録画できない場合があります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

❖ 録画番組の再生

1 ワンセグ視聴画面で

2 データを選択

- 再生画面をタップすると、再生コントローラーが表示されます。また、再生画面をダブルタップすると、全画面表示になります。
- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。

  : 音量調節

✓お知らせ

- 録画リスト画面で、データをロングタッチすると、再生、タイトル名の変更、データの保護／解除などが行えます。

❖ 録画リストからデータを削除

1 ワンセグ視聴画面で

2 データを選択(ロングタッチ)

3 [削除] → [はい]

- 全件削除するときは、録画リスト画面で  → [全件削除] → [はい]
- 選択削除するときは、録画リスト画面で  → [選択削除] → データを選択 → [削除] → [はい]

◆ ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面で → [設定]

2 [全般設定]／[予約アラーム設定]→各項目を設定

全般設定

字幕表示：字幕表示のオン／オフを設定します。

字幕言語切替：複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。

主・副音声切替：副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。

音声切替：複数の音声を放送している番組で、どの音声を聞くかを設定します。

左右音声切替：左右どちらの音声を聞くかを設定します。

なめらかモード：映像をなめらかにする機能を使用するかどうかを設定します。[なめらかモード]にチェックを付けると電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。

- エコモードが起動すると、なめらかモードは解除されます。

高画質化：映像を高画質化する機能を使用するかどうかを設定します。

再生情報表示：録画番組再生時に再生情報を表示します。

放送用メモリ初期化：データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

予約アラーム設定

アラーム通知：予約した時刻の前に設定した時間（OFF／30秒前／45秒前／1分前）にアラームで通知します。

録画時アラーム：録画開始時にアラームやバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

アラーム音量：アラームの音量を設定します。

バイブレーション：アラーム通知時に振動するように設定します。

◆ チャンネル設定

❖ チャンネルリストの作成

1 ワンセグ視聴画面で→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト編集]→[新規作成]

2 [手動設定]／[自動設定]→チャンネルリストを設定

手動設定：地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを作成します。

自動設定：現在地で受信可能な放送局をスキャンして、チャンネルリストを作成します。

❖ チャンネルリストの切り替え

1 ワンセグ視聴画面で→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト切替]→チャンネルリストを選択

❖ チャンネルリストから放送局を削除

1 ワンセグ視聴画面で→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択

3 放送局を選択(ロングタッチ)

複数削除：[複数削除] → 放送局にチェック → [削除]

4 [はい]

❖ チャンネルボタンの割り当てを変更

1 ワンセグ視聴画面で→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択→[並べ替え]

3 をドラッグしてリストを並べ替える→[完了]

❖ チャンネルリストの初期化

1 ワンセグ視聴画面で→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト初期化]→[はい]

◆ 地デジ番組を再生する

HDDレコーダーなどで録画した地デジ放送番組をmicroSDカードに書き込み、本端末の高画質（VGAクラス）画面で視聴することができます（地デジ持ち出し機能）。

・書き込んだ機器によっては再生できない場合があります。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードを本端末に挿入

3 アプリケーションメニューで[テレビ]→

4 地デジ番組を選択

- 再生画面をタップすると、再生コントローラーを表示して、再生・一時停止・早送り・巻戻しなどを操作できます。

✓お知らせ

- 地デジ放送番組をmicroSDカードに書き込むときは、別売のSDメモリーカード変換アダプタなどを使用して行ってください。

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがあります。また、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとする、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- 待機中に約2分間操作しないと、カメラは終了します。
- 「パノラマ撮影」で撮影するには、microSDカードを取り付けている必要があります。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。

なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

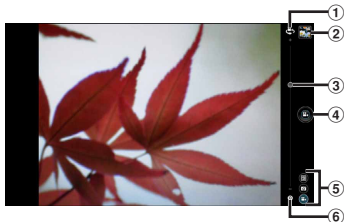


カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
● お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

- ① インカメラ／アウトカメラの切り替え
- ② 撮影履歴
- ③ ズーム
- ④ シャッターボタン
- ⑤ バーコードリーダー／静止画撮影／動画撮影の切り替え

⑥ 設定アイコン (タップして設定項目を表示)

◆ 静止画撮影

- 1 アプリケーションメニューで[カメラ]
- 2 撮影画面に被写体を表示→シャッター音が鳴り、写真が撮影されます。

◆ 動画撮影

- 1 アプリケーションメニューで[カメラ]
- 2 →[動画撮影]
 - 静止画撮影画面でをタップして切り替えることもできます。
- 3 撮影画面に被写体を表示→ (開始)
撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
 - 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。
- 4 (停止)
撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

◆ パノラマ撮影

静止画撮影時に、カメラの方向を左右または上下に少しずつずらすだけで連続したパノラマ画像を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。
- 「パノラマ撮影」で撮影した画像は、microSDカードに保存されます。microSDカードが取り付けられていることを確認してください。

1 アプリケーションメニューで[カメラ]

2 → [パノラマに切替]

パノラマ撮影画面に切り替わります。

3 カメラを被写体に向ける

4 (開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影時にカメラの方向をずらす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラをゆっくり動かします。

5 (停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が終了してパノラマ画像が保存されます。

- シャッターボタンをタップしないで撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

◆ 撮影時の設定変更

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- ホーム画面、アプリケーション画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

❖ 静止画撮影時の設定変更

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ 表示サイズ

撮影サイズを選択します。

■ 明るさ調整

画像の明るさを設定します。

■ カメラ設定

カメラの設定を変更したり、初期状態に戻したりします。
• 各設定項目の左右に表示される「<」や「>」をタップして設定項目を切り替えます。

位置情報を記録する：撮影した画像に位置情報を付加するかどうかを設定（ON/OFF）します。

データ保存先切替：撮影データの保存先（本体/SDカード）を選択します。

画面の明るさアップ：画面を明るくするかどうかを設定（ON/OFF）します。

初期設定に戻す：カメラの各設定を初期状態に戻します。

❖ 動画撮影時の設定変更

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ 動画の画質

動画撮影時の画質を選択します。

■ サイズ選択

動画撮影時の画像サイズを選択します。

■ 録画音声

録画音声のON/OFFを切り替えます。

■ 明るさ調整

画像の明るさを設定します。

■ カメラ設定

カメラの設定を変更したり、初期状態に戻したりします。

- 各設定項目の左右に表示される「<」や「>」をタップして設定項目を切り替えます。

データ保存先切替：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

画面の明るさアップ：画面を明るくするかどうかを設定（ON/OFF）します。

初期設定に戻す：カメラの各設定を初期状態に戻します。

◆ バーコードリーダー

JANコード（JAN8、JAN13）、NW7コード、CODE39コード、QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖ バーコードの読み取り

- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 アプリケーションメニューで[カメラ]→

→[バーコードリーダーに切替]

- 静止画撮影画面や動画撮影画面でをタップして切り替えることもできます。

2 撮影画面にコードを表示→スキャンまたは撮影画面をタップ

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読取結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

静止画撮影／動画撮影の切り替え：→[カメラ切替]→[静止画]／[動画]

履歴の表示：→[履歴]

ヘルプの表示：→[ヘルプ]

ちらつき調整の変更： → [ちらつき調整] → [自動] / [50Hz (東日本)] / [60Hz (西日本)]

3 読み取りデータを確認

データの保存： → [履歴を保存] → 履歴欄をタップ

◆ バーコードの主な利用

読取結果画面で、読み取ったバーコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳一括登録： → [電話帳一括登録] → 電話帳に登録

メールの作成：メールアドレスを選択してメールを作成サイトまたはホームページに接続：URLを選択

URLをブックマークに登録： → [ブックマークに登録]

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像(静止画、動画)を表示/再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示/再生できます。
静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
動画：H.263、H.264、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8
※ GIFアニメーションは再生できません。
- ファイルによっては表示/再生できない場合があります。

◆ 画像の表示/再生

1 アプリケーションメニューで[ギャラリー] → アルバムを選択 → 画像を選択

- 動画は画像一覧で ● が表示されます。
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。

■ 静止画表示中の操作

- ピンチイン/ピンチアウトで縮小/拡大します。
- 静止画表示中にをタップすると、[スライドショー] / [編集] / [左に回転] / [右に回転] / [トリミング] / [登録] / [詳細情報] / [地図に表示] などの操作ができます。[編集] では、色調や明るさの補正、特殊効果などの編集ができます。[登録] では、連絡先の写真や壁紙に登録できます。
- 静止画表示中にをタップすると、表示中の画像を削除できます。

■ 動画再生中の操作

-  で音量を調節します。
- 画像をタップして表示される操作画面で再生/一時停止の他、スライダーをスライドさせて再生位置を変更できます。

■ 画像一覧での操作

- 画像をロングタッチすると、画面左上にチェックが表示され、画像に水色の枠が表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- 画像を選択した状態で画面上部の [〇件選択...] をタップすると、[すべて選択] / [選択をすべて解除] の操作ができます。

- 1件の画像を選択した状態で、 をタップすると、[編集] / [左に回転] / [右に回転] / [トリミング] / [登録] / [詳細情報] / [地図に表示] などの操作ができます。

■ テレビ表示中のリモコン操作

MHL接続でテレビに表示しているときはテレビのリモコンを使って操作できます。

- リモコンのボタンに対応する基本的な操作は次のとおりです。接続するテレビによっては、操作が異なる場合があります。

「決定」ボタン：選択

「←/→/↑/↓」ボタン：スライド/フリック

「ホーム」ボタン：ナビゲーションバーのホームキー

「戻る」ボタン：ナビゲーションバーのバックキー

✓お知らせ

- アルバム一覧で画面左上に表示される [アルバム] をタップすると、画像を [アルバム] / [ロケーション] / [時間] / [タグ] 別に分類して表示を切り替えることができます。[タグ] による分類は、Picasaのアルバムに設定されたタグ情報による分類となります。あらかじめPicasaのアルバムにタグ情報を設定した上で、Picasaに登録されているGoogleアカウントを本端末に同期させてからご利用ください。
- アルバム一覧で → [設定] → [明るさアップ] をタップして、詳細画像表示時に明るく表示するかを設定します。

- 画面上部に表示されるアイコンをタップすると、次の操作ができます。

: カメラを起動

: スライドショー

: 送信方法を選択して画像の送付や共有

: 画像の削除

: 各画面でのメニューを表示

YouTube

YouTubeは、Googleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生、検索、アップロードなどができます。

1 アプリケーションメニューで[YouTube]

: キーワードを入力して動画を検索

→ [ヘルプ] : ヘルプの表示

2 動画を選択

- で音量を調節します。
- 再生画面をタップして表示されるキーやスライダーで一時停止/再生、再生位置指定の操作をします。

✓お知らせ

- 数百MB以上の大容量の動画ファイルは、パソコンからアップロードしてください。ネットワーク環境により本端末からはアップロードできない場合があります。

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。

- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体左上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 電子コンパス

本端末は、地球の磁場を検知する電子コンパスを使用したアプリケーションに対応しています。

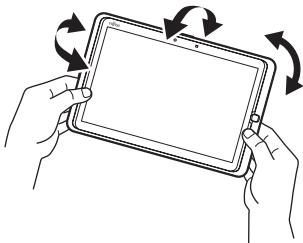
- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を検知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を検知できなかったり、方位の算出に誤差がある場合があります。

- 電子コンパスを使用したアプリケーションの起動直後、急激な温度変化を伴う場所や磁場を感知しにくい場所に長時間置いたとき、付属の卓上ホルダの接続時は方位の算出に誤差が出る場合があります。
- 正しく方位を測定できない場合は、磁場を感知しやすい場所に移動してから電子コンパスを調整してください。
- 本端末を永久磁石のような強い磁気を帯びたものに近付けないでください。本端末そのものが磁気を帯びたときは、測定精度に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

❖ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

電子コンパス機能使用中に、本端末をしっかりと持ちさまざまな方向に10秒程度動かします。



◆ 位置情報アクセスの設定

位置情報の使用をアプリケーションに許可します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[位置情報アクセス]

2 [位置情報にアクセス]を[ON]/[OFF]

- [GPS機能] / [Wi-Fi接続時の位置情報] にチェック/チェックを外して、設定を変更します。
- [ユーザーの同意] / [位置情報についての同意] 画面が表示されたら、[同意する] をタップします。

✓お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。
- [位置情報にアクセス] をONにすると、Googleの位置情報サービスによる匿名化された現在地データの収集に同意したものとみなされます。データ収集はアプリケーション起動の有無に関わらず行われます。

◆ Googleマップ

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などができます。

- Googleマップを利用するには、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 アプリケーションメニューで[マップ]

- 初回起動時は、利用規約とプライバシーポリシーに同意する必要があります。
- 自分だけのマップ画面が表示されたら、[スキップ] または [ログイン] をタップします。
[ログイン] をタップした場合は、画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定してください。
- Googleマップの操作については、地図左上のメニューアイコンをタップ→[ヘルプ] をご覧ください。

■ 地図表示中の操作

スクロール：地図をスクロールします。

2本指スワイプ：上下スワイプで地図の表示が傾斜します。回転スワイプで地図の表示が回転します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

2本指タップ：縮小します。

時計

卓上時計を表示したり、アラームを設定したりします。

1 アプリケーションメニューで[時計]

卓上時計が表示されます。

◆ アラームの設定

1 アプリケーションメニューで[時計]→

2 目的の操作を行う

新規アラームを設定：[アラームの設定] → [時刻]
→時刻を設定→[繰り返し] / [アラーム音] /
[バイブレーション] / [ラベル] を設定→[OK]
アラームON/OFF切り替え：アラームにチェック/
チェックを外す
アラームの削除：時刻表示欄をロングタッチ→[アラームを削除] → [OK]

3 [完了]

❖ アラーム通知時刻になると

設定に従ってアラームが動作します。

アラームの停止：通知画面で[停止]

スヌーズを設定：通知画面で[スヌーズ]

- 一定時間が経過すると再びアラームが動作します。

スヌーズを解除：通知パネルを開く→スヌーズ通知をタップ

カレンダー

本端末のカレンダーをオンラインのGoogleカレンダーと同期させて、予定を管理できます。

- カレンダーを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。

◆ カレンダーの表示

1 アプリケーションメニューで[カレンダー]

■ カレンダー画面での主な操作

表示単位の切り替え：[日] / [週] / [月] / [予定リスト]

今日を含む表示に切り替え：[今日]

同期、表示するカレンダーの選択：[設定] → [同期、表示するアカウントをタップ] → 右側リスト欄のアカウントにチェック

カレンダー設定：[設定] → [全般設定] → 各項目を設定

◆ 予定の登録

1 カレンダー画面で

- 初回や未同期のときはアカウント追加画面が表示されます。必要に応じてアカウントを追加してください。
- 時間帯をロングタッチ（月表示の場合は日付をタップしてから時間帯をロングタッチ）しても登録できます。

2 各項目を設定 → [完了]

◆ 通知の時間になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で予定の確認やスヌーズの設定ができます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

2 目的的操作を行う

予定の確認：通知をタップ

詳細画面が表示され、予定の編集や削除ができます。

通知をスヌーズ：[スヌーズ]

5分後に再度予定を通知します。

◆ 予定の確認

カレンダーに登録した予定の詳細を表示します。

1 カレンダー画面で予定をタップ

- 月表示の場合は日付をタップしてから予定をタップします。

■ 詳細画面での操作

予定の編集：[編集] → 予定を編集 → [完了]

予定の削除：[削除] → [OK]

電卓

1 アプリケーションメニューで[電卓]

2 計算する

入力した文字の消去：

数式をすべて消去：[C]

切り取り／コピー／貼り付け：数式表示欄をロング
タッチ→切り取り／コピー／貼り付けの操作を行う

電子辞書

電子辞書を利用します。

1 アプリケーションメニューで[統合辞書+]

2 キーワードを入力→[検索]

・文字入力中はキーワードに連動して検索候補が表示
されます（インクリメンタルサーチ）。

音声検索：→キーワードを発声

ヘルプの表示：

電子辞書の操作方法を確認できます。

バージョン情報の表示：

電子辞書設定：→[設定]→各項目を設定

文字サイズ、検索件数、動画や音声再生の動作などを
設定できます。

辞書の管理：→[辞書管理]→目的の操作を行う
辞書の保存先を移動したり、辞書を削除したりしま
す。

3 候補一覧から調べたいキーワードをタップ

✓お知らせ

- ・本端末またはパソコンを使ってダウンロードサイトから辞書データを追加して利用できます。詳しくは、[辞書を追加する]をタップしてください。
- ・パソコンを使って、辞書コンテンツをダウンロードする場合は、あらかじめmicroSDカードを本端末から取り外して、microSDカードリーダー／ライターなどを使ってパソコンと接続し、microSDカードへ辞書コンテンツをインストールしてください。
- ・インターネットに接続して辞書コンテンツをダウンロードする場合には、通信環境によって時間がかかることがあります。
- ・本端末でのダウンロード中は、辞書ダウンロード以外の機能をご利用になれません。
- ・ダウンロードが途中でキャンセルされた場合でも、ダウンロードが完了している辞書は更新されます。

検索

キーワードを入力して本端末内やWebサイトを検索したり、本端末内のアプリケーションを呼び出して起動したりできます。音声でWebサイトを検索することもできます。

1 アプリケーションメニューで[Google]→キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

音声検索：アプリケーションメニューで[音声検索]
→キーワードを発声

2 検索候補を選択

◆ 検索設定

検索機能の設定を行います。

1 検索候補表示中に [?] → [設定] → 各項目を設定

音声：言語や音声出力について設定します。

タブレット内検索：タブレット内検索の対象を指定します。

プライバシーとアカウント：Google検索のプライバシーとアカウントについて設定します。

- プライバシーとアカウントのヘルプを表示するには、画面右上の[?]をタップします。

✓お知らせ

- 特定の検索サイトを選択して検索できる[ウルトラ統合検索]を検索設定で検索対象にした場合は、ホーム画面で[ウルトラ統合検索]を一度起動してからご利用いただけます。

Document Viewer

Office文書（Word、Excel、PowerPoint）、PDFファイル、テキストファイルを表示します。

1 アプリケーションメニューで[Document Viewer]

2 フォルダ／ファイルを選択

- 画面をタップするとアイコンが表示され、次の操作ができます。

◀/▶：前後のページ（シート）を表示

🔍：ズームコントロールを表示

✂️：画面サイズで表示する範囲を指定

🏠：ファイル一覧に戻る

- 各ファイルの閲覧画面で [≡] をタップすると、移動、検索、ページ表示、コピー、設定、共有、エンコードの設定、バージョン情報の表示などができます。操作できる項目はファイルの種類により異なります。

✓お知らせ

- Office文書の表示内容がパソコンでの表示と異なったり、文書の一部が表示されない場合があります。

保証とアフターサービス

サポート情報の公開について

富士通タブレット専用ホームページでは、Q&A情報や、対象製品のソフトウェアを提供しています。

<http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/>

◆ マカフィー モバイルセキュリティについて

マカフィー モバイルセキュリティの使い方および、ライセンスの更新については、次の窓口にお問い合わせください。

マカフィー・テクニカルサポートセンター
電話：0570-060-033（携帯電話からの場合：03-5428-2279）
受付時間：9:00～21:00（年中無休）
URL：<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>
お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_mobilewebform.asp

修理について

◆ 修理を申し込む前の準備

- 故障かどうかをもう一度ご確認ください。→P130
- お申し込み前に必ず「富士通タブレット修理規定」を確認の上、同意をお願いします。→P121
- 保証期間内の場合は保証書をお手元にご用意ください。保証期間は、お買い上げ日（保証開始日）から1年間です。保証期間内は無料で修理させていただきます。ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。
- 故障品をお手元にご用意ください。
お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。
- 本端末のデータのバックアップをしてください。
修理前の診断作業および修理過程において、本端末の初期化によりデータ消去を行います。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身でバックアップしてください。バックアップの方法については「バックアップと復元」をご覧ください。→P49

◆ 修理の申し込み

本端末の修理のお申し込み、および取扱説明書に従って操作しても解決できないトラブルのご相談は、お電話でお問い合わせください。

なお、お問い合わせの前に必ず「富士通タブレット相談対応規約」を確認の上、同意をお願いします。→P126

富士通タブレット修理・相談センター
050-3101-2222（通話料お客様負担）
受付時間 平日9時～17時
（土・日・祝日・当社指定の休日を除く）

※ 電話番号はお間違えないように、充分ご確認の上おかけください。

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

✓お知らせ

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号、お引き取りとお届けの住所をおうかがいいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通タブレット修理規定」の第13条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。→P121

◆ お引き取りとお届け

- 弊社指定の宅配業者がご自宅へ本端末を引き取りにうかがいます。
梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。
- お引き取り日時について
お引き取りは、修理受付の翌日以降（9:00～21:00※）で指定できます。
※ 地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情等により指定日時におうかがいできない場合があります。
- microSDカードを取り外してください。→P28
修理が終わるまで、お客様自身で大事に保管してください。
- 本端末を初期化してください。→P49
- 画面ロック、各種パスワード、指紋認証等は解除してください。→P77
- 保証書を用意してください。（保証期間中の場合）
- 宅配業者がお渡する「お預かり伝票」を大切に保管してください。
- 引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。
- お届けとお支払いについて
修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。
- 修理料金について
保証期間内（保証開始日より1年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）

◆ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
 - 次のような場合は改造とみなされる場合があります。液晶部やキー部にシールなどを貼る、接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末のスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに「富士通タブレット修理・相談センター」へご連絡ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

富士通タブレット修理規定

第1条（本規定の適用）

1. 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が「富士通タブレット修理・相談センター」<050-3101-2222（通話料お客様負担）>にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合ならびに販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
2. 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第2条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製タブレット（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製タブレット用の富士通製周辺機器とします。

第3条（修理の形態）

1. 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等をうかがいながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、以下に詳細を定める引取修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。

【引取修理】

お客様の自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。

2. 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が対象機器に同梱されるACケーブル、ACアダプタ等のお客様にて交換可能な部品であると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第4条（保証期間内の修理）

1. 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。

2. 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- (1) 保証書が対象機器に添付されていない場合
- (2) 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされている場合
- (3) ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
- (4) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
- (5) 寿命部品や消耗品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
- (6) 接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアの使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
- (7) お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合

(8) お客様が設定したパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合

(9) お客様のご使用環境や対象機器の維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合

（例：ほこり、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）

3. 第1項にかかわらず、以下に該当する場合は、保証期間内であっても、別途料金が発生するものとします。

ハードウェア部分に起因する故障ではなく、初期化、再インストールで復旧する場合であって、お客様が当該初期化、再インストールを希望された場合の作業料金

第5条（保証期間外の修理）

1. お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。

2. ハードウェア部分に起因する故障ではなく、初期化、再インストールで復旧する場合で、お客様が当該初期化、再インストールを希望された場合は、修理料金の他に作業料金が発生するものとします。

3. お客様による修理のご依頼が保証期間外の修理の場合であって、お客様にうかがった故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項および第3項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。

第6条（修理工料の見積もり）

1. 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理工料の見積もりを希望された場合、富士通は、対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとします。

ただし、お客様から修理のご依頼時に修理工料の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理工料が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。

2. 前項のうちお客様に見積金額をお知らせした日から1ヶ月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

3. 第1項のうち、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要がある場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいた上で、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条（修理工料等の支払い方法）

第4条または第5条に基づき発生した修理工料等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第8条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間に対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があるものとします。

(1) お客様からうかがった故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合

(2) 引き取り先が離島の場合

(3) 有料修理の場合であって、お客様が修理工料の見積もりを希望された場合

(4) お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合

(5) 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合

(6) 補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品をいい、以下同じとします）が在庫切れの場合

第9条（修理品の保管期間）

修理完了後にお客様に修理の完了ならびに返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6ヶ月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用ならびに当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理工料または診断料を請求できるものとします。

第10条 (故障部品の取り扱い)

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第11条 (修理ご依頼時の注意事項)

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

(1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。

(2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとり、初期化によりデータ等を消去していただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）

なお、当該消去をなされずに当該ご依頼をいただいた場合であっても、修理ならびに修理前の診断作業における初期化の過程で、データ等が消去されます。また、お客様が修理をキャンセルされた場合（第6条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点ですでに富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が消去されます。

(3) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。

(4) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外した上で修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。

(5) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。

(6) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除した上で修理をご依頼いただくものとします。

(7) 対象機器の修理とは関係のない記憶媒体（SDメモリーカード等）、他の機器との接続ケーブル、ならびに添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外した上で修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。

(8) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。

a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理

b. ウィルスの除去

c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換

d. データ等のバックアップおよび復旧作業

第12条 (補修用性能部品)

1. 補修用性能部品は、故障部品と機能、性能が同等な部品(再用品および第10条に定める故障部品の再利用も含む)とします。
2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第13条 (個人情報の取り扱い)

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報(以下「お客様の個人情報」といいます)につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
 - (1) 修理を実施すること。
 - (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
 - (3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。
 - (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに、当該同意を得た利用目的に利用すること。
2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第1項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第14条 (責任の限定)

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より3ヶ月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。
 2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。
 3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。
- また、富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第15条 (変更)

富士通は、本規定の内容を変更する必要がある場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第16条 (専属的合意管轄裁判所)

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2012年10月1日から実施します。

■対象機器

- ・ 型名 FAR *** (***は数字またはアルファベット3桁)

富士通タブレット相談対応規約

第1条 (適用範囲)

1. 本規約は、富士通株式会社（以下「富士通」といいます）が提供する「富士通タブレット修理・相談センター」の各サービス（以下「本サービス」といいます）を、次条に定めるタブレット利用者（以下「利用者」といいます）が利用する場合に適用されます。
2. 本規約とは別に、富士通が本サービスごとに利用規約または利用条件（以下あわせて「利用規約等」といいます）を定めた場合には、利用者は、当該利用規約等に従って本サービスを利用するものとします。なお、本規約と利用規約等の定めが異なる場合は、当該利用規約等の定めが優先して適用されるものとします。

第2条 (利用者)

1. 利用者とは、本規約末尾記載の本サービスの対象製品（以下「サービス対象製品」といいます）を購入し、「富士通タブレット修理・相談センター」に電話をしていただいた方をいいます。

第3条 (本サービス)

1. 富士通は、利用者に対し、日本国内において日本語にて以下のサービスを提供します。
 - (1) サービス対象製品に関する、「富士通タブレット修理・相談センター」での相談対応
 - a. 電話での相談対応
2. 富士通は、本サービスに係る業務の一部または全部を第三者に委託できるものとします。

第4条 (富士通タブレット修理・相談センターによる相談対応)

1. 富士通は、利用者に対し、電話にて、以下の相談対応（以下「電話相談対応」といいます）を提供します。
 - (1) サービス対象製品が、取扱説明書に記載されている仕様および操作方法どおりに動作しない場合の、問題解決のための支援。
 2. 電話相談対応における利用者からの問い合わせの受付方法および受付時間については、本規約末尾記載のものとします。
 3. 利用者は、電話相談対応を利用する場合、サービス対象製品の記憶装置（内蔵メモリ等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容等については、事前に利用者の責任においてバックアップをとるものとします。
 4. 以下の作業は、電話相談対応の対象とならない場合があります。利用者はあらかじめ了承するものとします。
 - (1) サービス対象製品以外のハードウェアおよびソフトウェアに対するサポート作業
 - (2) サービス対象製品にインストールされているソフトウェアについて、利用者が別途バージョンアップ版やアップグレード版等を購入し、バージョンアップやアップグレードを行ったソフトウェアのサポート作業
 - (3) サービス対象製品のOSがAndroid OSである場合、富士通がAndroid OS自体に起因すると判断する不具合に対するサポート作業
 - (4) 質問に対する作業が、連続的かつ長時間にわたる作業
 - (5) 電話による相談対応が、不可能または不適切と富士通が判断した場合におけるサポート作業
 - (6) 取扱説明書に記載されていないような、通常想定できない使用方法に対するサポート作業
 - (7) 電話以外の手段での、相談対応の受付

(8) その他富士通がサポート対象にならないと判断した作業

5. 電話相談対応の利用料については、本規約末尾記載のとおりとします。なお、利用者が富士通タブレット専用ホームページを利用する際にかかる通信費等は、別途利用者が負担するものとします。

6. 前項において利用料が有料となる場合、その支払方法は、原則としてクレジットカード（MASTER/VISA/JCB）での支払いとします。なお、支払方法は一括払いとします。

7. 前項におけるクレジットカードでの支払いの場合、利用料は当該クレジット会社の対応規程において定められている振替日に利用者指定の銀行から引き落とされるものとします。なお、当該支払に要する手数料は、利用者の負担とします。

第5条（利用者の遵守事項）

1. 利用者は、富士通が本サービスを提供するにあたり必要と判断したデータおよび情報等を、富士通に提供するものとします。

2. 利用者は、富士通が依頼する問題解決に必要なと判断した予防または修正のための作業をすみやかに実施するものとします。

3. 利用者は、本規約に基づき本サービスを受ける権利につき、第三者に譲渡、再許諾等できないものとします。また、本サービスにより富士通が利用者に提供した情報その他著作物は、その利用者のみ利用することができるものであり、利用者は富士通の書面による事前の承諾なくして、当該情報その他著作物を第三者に利用させないものとします。

4. 利用者は、氏名、住所等、富士通への届出内容に変更があった場合は、すみやかにその旨富士通へ届け出るものとします。利用者が当該届出を怠った場合、富士通は当該利用者に対して本サービスを提供しないことがあります。

5. 利用者は、サービス対象製品に関する所有権、使用权等を保有する等、サービス対象製品を適法に利用していることを富士通に対し保証するものとします。万が一適法に利用していないことが判明した場合には、富士通は当該利用者に対して本サービスを提供しないことができるものとします。

第6条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本サービスの利用にあたり利用者が富士通に通知した情報のうち、当該利用者個人を識別できる情報（以下「利用者の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

(1) 本サービスを提供すること。

(2) 本サービスの向上を目的として、Eメール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

(3) 本サービスの向上を目的として、利用者におけるEメールの開封状況、富士通のWebページの閲覧状況、その他利用者における本サービスの利用に関する情報を収集、および分析すること。

(4) 利用者に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、Eメール、郵便、電話等により利用者へ提供すること。

(5) 利用者の個人情報の取り扱いにつき、個別に利用者の同意を得るために、当該利用者に対しEメール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに当該同意を得た利用目的に利用すること。

(6) キャンペーン品・モニター品・当選賞品などを利用者へ発送すること。

2. 富士通は、前各項に定める利用目的のために必要な範囲で、利用者の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。

3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、利用者の個人情報につき、本条に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第7条（サービスの打ち切り）

富士通は、利用者への事前の通知により、本サービスの提供の全部または一部を打ち切る場合があることを利用者は了承するものとします。

第8条（責任の限定）

1. 富士通は、利用者が本サービスを利用することにより得た情報等について何らの保証をするものではありません。

2. 本サービスのうち有料サービスの利用または利用不能により利用者が損害を被った場合には、当該本サービスの利用料金相当額を限度として富士通は賠償責任を負うものとします。ただし、本サービスのうち無料サービスの利用または利用不能により利用者が損害を被った場合には、富士通は賠償責任を負わないものとします。

3. いかなる場合においても富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益ならびに第三者からの損害賠償請求に基づく損害については、責任を負わないものとします。

4. 本サービスの利用または利用不能により利用者が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、第2項および前項の規定は適用されないものとします。

第9条（利用者資格の取消等）

1. 利用者が次のいずれかに該当する場合、富士通はその利用者資格を取り消すことがあります。

- (1) 本サービスのうち有料サービスを利用した際に、利用料金の支払を遅滞もしくは拒否した場合
- (2) 本規約に違反した場合

(3) 本サービスの運営を妨げる行為を行った場合

(4) 他者になりすまして本サービスを利用した場合

(5) 他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する行為をした場合

(6) 富士通が事前に承認した場合を除き、本サービスを使用して、営業活動、営利を目的とした利用およびその準備を目的とした利用を行った場合

(7) その他富士通が不適切と判断した行為を行った場合

2. 前項のいずれかの行為を利用者が行ったことにより、富士通が損害を被った場合、富士通は利用者に対し当該損害の賠償を請求することがあります。

第10条（本サービスの中断）

富士通は、天災地変、労働争議等の不可抗力により本サービスの提供ができない場合、本サービス提供用の設備の保守上または工事上やむをえない場合、その他富士通がその運用上または技術上、本サービスの一時的な中断を必要とした場合には、本サービスの提供を中断することがあることを、利用者は了承するものとします。

第11条（変更）

富士通は、以下の事項を変更する必要がある場合は、利用者に対する通知をもって変更できるものとします。

- (1) 本規約ならびに利用規約等の内容
- (2) 本サービスの利用料金
- (3) サービス対象製品
- (4) 本サービスの内容

第12条（通知）

本サービスならびに本規約における富士通から利用者への通知は、富士通タブレット専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第13条（専属的合意管轄裁判所）

利用者と富士通の間で、本サービスにつき訴訟を提起する場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

◆ サービス対象製品

• ARROWS Tab Wi-Fi※

※ 型名 FAR***（***は数字またはアルファベット3桁）

◆ 富士通タブレット修理・相談センターの受付方法、受付時間ならびに利用料

※ 最新の情報につきましては、富士通タブレット専用ホームページでご確認ください。

1. 受付方法および受付時間

受付方法：電話による相談対応（通話料お客様負担）

受付時間：平日9時～17時（土曜日・日曜日・祝日および富士通所定の休業日を除く）

2. 注意

受付時間は、サービス対象製品および受付方法により異なる場合があります。詳細につきましては、富士通タブレット専用ホームページでご確認ください。また、受付時間内であっても、時間帯により電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

3. 利用料

無料とします。ただし、有料での相談対応を実施する場合は、第11条および第12条に基づき、規約の変更を通知した上で実施します。

◆ 専用ホームページ

URL：http://www.fmwORLD.net/arrows/wifi/support/

専用ホームページを利用する際にかかる通信費等は、別途利用者が負担するものとします。

トラブルシューティング (FAQ)

◆ 故障かな？と思ったら

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

■ 電源・充電

● 本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。

● 充電ができない

- ・ ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- ・ 本端末と付属の卓上ホルダとACアダプタは正しく接続されていますか。→P30
- ・ 本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- ・ PC接続用USBケーブル（市販品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- ・ 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLEDが消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

● 本端末の電源が切れない

を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

■ 端末操作・画面

● キーを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。または指紋センサーを押して解除してください。→P47

● 電池の使用時間が短い

- ・ 複数のアプリケーションを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリケーションを終了してください。
 - タスクマネージャでアプリケーションを終了→P48
 - でアプリケーションを終了
- ・ 「NX!エコ」を利用して、電池の消費を抑える設定を行ってください。→P75
- ・ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- ・ 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

● タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

- **操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない**
本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。
- **端末が熱くなり、電源が切れる**
複数のアプリケーションの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。
- **ディスプレイが暗い**
 - ・画面の明るさ設定を確認してください。→P70
 - ・NX!エコのエコモードを設定していませんか。→P75
- **時計がずれる**
長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の[日付と時刻の自動設定]にチェックが付いていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P88
- **タップしても正しく操作できない**
 - ・手袋をしたままで操作していませんか。
 - ・爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
 - ・ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
 - ・タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作していませんか。
 - ・指で直接画面に触れて操作してください。

- **本端末の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない**
本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリケーションなどを削除してください。→P76
また、microSDカードの空き容量が少なくなった場合も動作が安定しなくなることがあります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- **データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない**
電源を入れ直してください。→P32
- **音声が出力されない**
ワンセグ視聴中やDiXiM Playerなどでのコンテンツ再生中にステレオイヤホンプラグを抜くと、音量が最小になります。音量を上げてください。
- **メール**
 - **新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない**
Eメールのアカウント設定の[メール着信通知]を変更していませんか。→P53
- **ワンセグ・カメラ**
 - **ワンセグの視聴ができない**
 - ・地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
 - ・チャンネルを設定していますか。→P106
 - **カメラで撮影した静止画や動画がぼやける**
カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ データ管理

- microSDカードに保存したデータが表示されない
microSDカードを取り付け直してください。→P28

- データ転送が行われない

USB HUBを使用していないですか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度、機器登録を行う場合は本端末とBluetooth機器の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

■ その他

- 指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに【滑らせ方が速すぎます。】【滑らせ方が遅すぎます。】などと表示される

センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

- 指紋センサー利用時にディスプレイの表示が消える
指紋センサーを押してしまうと、スリープモードになります。指紋センサーを押さない程度の力で指をスライドさせてください。

- ディスプレイの端から光が漏れている

ディスプレイを斜めにして見ると光が漏れていることがあります。不良品ではありません。あらかじめご了承ください。

- パソコンなどと本端末を接続したときに指紋認証できない

デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

- USBマストレージに保存したデータが表示されない

USBマストレージを取り付け直してください。

- 市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない

市販のmicroUSB用変換アダプタを使用している場合は、microUSB用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。

◆ エラーメッセージ

- 指紋センサーが起動できません。

指紋センサーが正常に動作できない場合に 표시됩니다。指紋センサーが利用できなくなった場合は、「富士通タブレット修理・相談センター」までお問い合わせください。

- 電池残量がありません。シャットダウンします。

電池残量がありません。充電してください。→P30

- やり直してください

画面ロックの解除時に暗証番号またはパスワードが誤っていると表示されます。正しい暗証番号またはパスワードを入力してください。→P77

廃棄・リサイクル

■ 個人のお客様へ

PCリサイクル対象外であり、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■ 法人・企業のお客様へ

弊社ではお客様から排出される機器を回収リサイクル（有償）し、リチウムイオン電池など資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。詳細は当社ホームページ「事業系IT製品リサイクルサービス」(<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/recycle/>)をご覧ください。

主な仕様

■ 本体

品名		FAR70B
サイズ		高さ約169mm×幅約259mm×厚さ約9.9mm
質量		約589g
メモリ		ROM：32GB RAM：2GB
連続使用時間※1	動画再生時	約14時間
	音楽再生時	約75時間
	スタンバイ時	約2100時間

充電時間※2		約300分
ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約10.1inch
	発色数	16777216色
	ドット数	横1920ドット×縦1200ドット（WUXGA）
撮像素子	種類	アウトカメラ：CMOS インカメラ：CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1／4.0inch インカメラ：1／8.2inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約810万画素 インカメラ：約130万画素
記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約800万画素 インカメラ：約120万画素
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n※3準拠
Bluetooth機能	バージョン	4※4
	出力	Power Class 1
	見通し通信距離※5	約10m以内
	対応プロファイル※6	HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP、ANP、TIP、XPX、PASP、FMP
外部接続端子※7		USB2.0（micro-AB）

- ※1 ご使用の環境により異なる場合があります。音楽再生時の時間は、フル充電時の再生可能な時間の総量の目安です。本製品は24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっていません。
- ※2 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から付属の卓上ホルダとACアダプタを使って充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
- ※3 IEEE802.11nは、2.4GHz/5GHzに対応しています。
- ※4 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※5 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
- ※6 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※7 USB機器の接続には市販の変換アダプタが必要となります。外部ストレージはFAT16またはFAT32フォーマット機器に対応します。

■内蔵電池

使用電池	リチウムポリマー電池
公称電圧	3.7V
公称容量	10080mAh (37Wh)

- ※ お客様ご自身では交換できません。修理対応（有償）になります。

❖ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画ファイル	JPEG	jpg
動画ファイル	MP4	3gp

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。

アプリケーションメニューで [設定] → [タブレット情報] → [認証]

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

Declaration of Conformity

The product "FAR70B" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/arrows/tab_wifi/doc/.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Tablet PC should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the device in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a tablet PC and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker.

Hearing Aids

Some digital wireless devices may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.



<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。



- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewerを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
Copyright © 2013 ACCESS CO., LTD. All ACCESS[™] NetFront[™] rights reserved.
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴ、microSDXCロゴは  microSD[™] microSD[™] SD-3C, LLCの商標です。
- 本書では、Microsoft ExcelをExcelと、Microsoft WordをWordと、Microsoft PowerPointをPowerPointと略して表記しています。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Gmail、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Googleマップ、Google音声検索、Google+およびGoogle+ロゴ、Picasa、Google ChromeおよびGoogle Chromeロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、弊社へライセンスされています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。



- aptXはCSR plc.の商標です。
- 「milock」はオーセンテック株式会社の登録商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIED、WPSロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED[™]、WPA[™]、WPA2[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]およびWi-Fi Direct[™]はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS[™]は株式会社バッファローの商標です。 
- DLNA[®]、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED[™]は、Digital Living Network Allianceの商標です。DLNA[®], the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED[™] are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNA認証は富士通株式会社が取得しました。
- OBEX[™]は、Infrared Data Association[®]の商標です。 
- ドルビーラバトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラバトリーズの商標です。
- FrameSolidは株式会社モルフォの登録商標です。
- DigiOn及びDiXiMiは株式会社デジオンの商標です。 
- StationMobile[®]は株式会社ピクセラの登録商標です。 

- TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents: 5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- MHLおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。



◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1 規格準拠のビデオ (以下「VC-1 ビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) VC-1 ビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1 ビデオ、および/またはVC-1 ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1 ビデオに限ります) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

- FrameSolidは株式会社モルフォの画像フレーム補間機能です。
- お買い上げ時、端末本体メモリには以下の辞書コンテンツがインストールされています。

〈岩波書店〉

広辞苑第六版 DVD-ROM版 (新村出編)

〈研究社〉

リーダーズ英和辞典 第2版 (松田徳一郎編)

新和英中辞典 第5版 (Martin Collick, David

P.Dutcher, 田辺宗一、金子稔編)

〈大修館書店〉

新漢語林MX (鎌田正、米山寅太郎著)

みんなで国語辞典② あふれる新語 (北原保雄編著/

「もっと明鏡」委員会編集)

KY式日本語 (北原保雄編著/「もっと明鏡」委員会編集)

問題な日本語 (北原保雄編 (北原保雄、小林賢次、砂川有里子、鳥飼浩二、矢澤真人執筆))

築地魚河岸ことばの話 (生田與克、富岡一成著)

裁判おもしろことば学 (大河原眞美著)

〈自由国民社〉

現代用語の基礎知識2012年版 (自由国民社編)

〈小学館〉

家庭医学館 (総編集 柳下徳雄/服部光男/岡島重孝/

小学館・家庭医学館編集委員会)

〈角川芸芸出版〉

角川類語新辞典 (大野晋、浜西正人著)

〈三省堂〉

デイリー日中英・中日英辞典 (池田巧監修/三省堂編修所編)

デイリー日韓英・韓日英辞典 (福井玲・尹亨仁監修/三省堂編修所編)

デイリー日独英・独日英辞典 (渡辺学監修/三省堂編修所編)

デイリー日仏英・仏日英辞典 (村松定史監修/三省堂編修所編)

デイリー日伊英・伊日英辞典 (藤村昌昭監修/三省堂編修所編)

デイリー日西英・西日英辞典 (上田博人、アントニオ・ルイス・ティノコ監修/三省堂編修所編)

デイリー日中英3か国語会話辞典 (池田巧・胡興智監修/三省堂編修所編)

デイリー日韓英3か国語会話辞典 (尹亨仁監修/三省堂編修所編)

デイリー日独英3か国語会話辞典 (渡辺学監修/三省堂編修所編)

デイリー日仏英3か国語会話辞典 (村松定史監修/三省堂編修所編)

デイリー日伊英3か国語会話辞典 (藤村昌昭監修/三省堂編修所編)

デイリー日西英3か国語会話辞典 (山村ひろみ監修/三省堂編修所編)

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれております。
ライセンスに関する詳細は、アプリケーションメニューで [設定] → [タブレット情報] → [法的情報] → [オープンソースライセンス] をご参照ください。
- 本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードは、GPL (<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>、<http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.html>)、LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1.html>)、MPL (<http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html>)、CPL (<http://www.eclipse.org/legal/cpl-v1.0.html>) の規定に従い開示しております。
詳細については以下のサイトの本製品に関する情報をご参照ください。
<http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/download/develop/>

索引

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（太字）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ア行

アカウント.....	88
削除.....	88
手動同期.....	88
追加.....	88
アプリケーション.....	76
アンインストール.....	76
データやキャッシュの削除.....	76
無効化.....	76
アプリケーションメニュー.....	44
アラーム.....	115
あわせるビュー.....	72
位置情報.....	114
インテリカラー.....	72
英語表示.....	86
エコモード.....	75
音・バイブ.....	67
音声検索.....	118
音声検索の設定.....	87
音声文字入力.....	39
音量.....	69

カ行

外部接続端子.....	29
画像.....	
ダウンロード.....	57
カメラ.....	107
画面の明るさ.....	70
画面のカスタマイズ.....	71
画面の自動回転.....	71
画面ロック.....	
解除.....	78
自動ロック.....	78
手動ロック.....	78
画面ロックの音.....	69
カレンダー.....	116
かんたんインターネット.....	58
画面の操作.....	58
設定.....	60
ブックマーク.....	59
履歴.....	60
Webサイトの表示.....	59
キーボード.....	
外付けキーボード.....	42
手書きキーボード.....	35
テンキーキーボード.....	34
表示／非表示.....	37
QWERTYキーボード.....	35
50音キーボード.....	35
機内モード.....	66
キャプメモ.....	86
ギャラリー.....	111
ケータイ入力.....	37
言語.....	86
検索.....	118

サ行

ジェスチャー入力	37
時刻	88
指紋認証	79
登録／削除	81
認証操作	81
充電	30
充電通知バンプ	69
初期化	49
初期設定	26
スタイル設定	73
ステータスアイコン	46
ステータスバー	45
ストレージ	74
スライドイン機能設定	86
スリープ	70
スリープモード	
解除	47
静止画撮影	108
静止画撮影画面	108
静止画表示	111
セキュリティロック	
設定	77
設定パネル	47
設定メニュー	61

タ行

タスク管理	48
タッチ操作音	69
タッチパネル	32
タブレット情報	89
単語リスト	87
地デジ持ち出し機能	106

チャンネル設定	106
通知アイコン	45
通知音	69
通知パネル	46
提供元不明のアプリケーション	84
定型文	41
ディスプレイ	70
データ使用	66
テキスト編集	41
テキスト読み上げの設定	87
テレビ	102
テレビリンク	103
電源ON/OFF	32
電子コンパス	113
電子辞書	117
電池	117
確認	75
充電	30
電池アイコン	71
電話帳	
連絡先リスト	50
動画再生	111
動画撮影	108
動画撮影画面	108
時計	115

ナ行

ナビゲーションバーのキー	45
入力方法の切り替え	39
認証情報	84

ハ行

バーコードリーダー	110
パスワードマネージャー	82
はっきりタッチ	68
バックアップ	49
パノラマ撮影	109
日付	88
フォトフレーム	70
フォント	72
フォントサイズ	72
プライバシーモード	82
起動／解除	84
設定	82
ブラウザ	54
画面の操作	55
先読み	56
辞書検索	57
設定	57
タブの操作	55
ブックマーク	56
履歴	55
リンクの操作	57
Webサイトの表示	55
フリック入力	37
ホーム画面	43

マ行

マイク入力	69
マナーモード	67
マルチメディア	74
無線とネットワーク	64
メモリ空き容量	74
文字入力	34

音声文字入力	39
キーボード	34
単語登録	40
定型文の登録	41
電話帳から引用	39
ATOKの設定	39

ヤ行

ユーザー辞書	40
ユーザー補助	88
輸出管理規制	136

ラ行

リセット	49
連絡先	
インポート	51
エクスポート	51
グループ作成	51
削除	51
登録	51
編集	51
ロック解除時バイブ	69
ロック画面	
解除	48
ロック画面の消灯時間	71
ロック画面の表示	71

ワ行

ワンセグ	100
視聴予約	103
設定	105
チャンネルリスト	106

録画.....	104	Wi-Fi Direct	65
録画予約.....	103	YouTube	112

英数字・記号

Androidビーム	99
ATOKの設定.....	39
Bluetooth通信	90
DLNA.....	95
Document Viewer	118
Dolby Digital Plus設定	74
Eメール	52
Gmail	54
Google Play	98
Googleキーボード	87
Googleマップ.....	115
GPS機能.....	114
GPS／ナビ	113
HDMI	94
IP通話アプリの音質サポート	69
MHL.....	94
microSDカード.....	28
データ消去	74
取り付け／取り外し.....	28
パソコンから操作	93
フォーマット.....	74
NFC	99
NX!エコ	75
Office文書	118
PDFファイル	118
Playストア	98
SDカードパスワード設定	85
USBマスのストレージ	93
VPN	67
Wi-Fi.....	64

ARROWS Tab Wi-Fi (FAR70B)

取扱説明書 < 詳細版 > Android4.1 用

B5FK-1121-03 Z0-00

発行日 2013 年 11 月

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

サポート情報はこちら

■本端末から

アプリケーションメニューで [ブラウザ] → Web サイト表示中に Web ページ最上部にスライド →  → 「サポート情報」

■パソコンから

<http://www.fmworld.net/arrows/wifi/support/>